

官

報

號外

大正九年七月十日

土曜日

印

刷

局

第四十三回  
帝國議會衆議院議事速記錄第七號

大正九年七月九日(金曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第六號 午後一時開議

第一銀行條例中改正法律案(政府提出)

第二右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三貯蓄銀行條例中改正法律案(政府提出)

第四右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

第六右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七農工銀行法中改正法律案(政府提出)

第八右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)

第十右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十一日本與業銀行法中改正法律案(政府提出)

第十二右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十三明治四十年法律第二十一號中改正法律案(政府提出)

第十四右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十五朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案(政府提出)

第十六右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十七北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案(政府提出)

第十八右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十九議院法中改正法律案(政府提出)

第二十右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十一少年法案(政府提出) 第一讀會

第二十二右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十三矯正院法案(政府提出) 第一讀會  
第二十四右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
第二十五公有林野官行造林法案(政府提出) 第一讀會  
第二十六右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
第二十七帝國鐵道電力株式會社法案(政府提出) 第一讀會  
第二十八右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
第二十九大正八年法律第五號中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
第三十決議案(中野正剛君提出) 第一讀會  
第三十一議長(奥繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス  
第三十二右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
第三十三農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
第三十四右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
第三十五北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
第三十六右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
第三十七北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會  
第三十八右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
第三十九議院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
第四十右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

下岡 忠治君 本田 恒之君  
吉島 一雄君 關 和知君  
今九日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
癡兵侵逼ニ關スル建議案  
提出者 津野田是重君 久下 豊忠君

勢和鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 津野田是重君 久下 豊忠君

八木 逸郎君

玉置 良直君

伊坂秀五郎君

岩本 平藏君

加藤久米四郎君

天春 文衛君

高橋久米三郎君

昨日 番外

第一讀會

第一

○講長（奥繁三郎君） 岩崎君  
○岩崎動君 其取消ヲ認ムルヤ否ヤハ別問題ト致シマシ  
テ、其陳述ハ許スベキモノデアルト思ヒマス  
○議長（奥繁三郎君） 異存ナイト認メマスカラ、永井柳太郎君ニ發言ヲ許シマス（拍手起立）  
〔永井柳太郎君登壇、拍手起立〕  
○永井柳太郎君 時日ノ演説ニ就キマシテ、取消デハア  
リマセヌガ、釋明致シタイ點ガゴザイマス、昨日ノ演説ノ中  
ニ云々  
「議長々々、取消デハナイノデスカ、永井君ハ取消デ  
ナイト言フ」ト呼フ者アリ」  
○議長（奥繁三郎君） 議長ノ宣言ヲ御聽キナサイ（「取  
消デナイト断ツテ居ル」ト呼フ者アリ）静ニ御聽キナサイ、永  
井君ヨリ取消ノ爲メノ發言通告ト云フコトデアリマス——  
永井君、取消デハナイノデスカ  
○永井柳太郎君 取消デハアリマセヌ、釋明ノ爲メデス  
○議長（奥繁三郎君） 諸君、永井君ハ取消ノ爲メニ發言  
ヲ求メルト云フコトデ、諸君ノ同意ヲ得テ發言ヲ許シマシタガ、  
取消ノ爲メアリマス、併ナガラ同君ノ昨八日ノ議場ニ於ケル演説ヲ  
發言ハ許シマセヌ、（拍手起ル）緊急動議ノ通告ガアリマス、議員永井柳太郎  
議員鶴澤總明君が成規ノ賛成ヲ得テ、議員永井柳太郎  
君ニ對スル懲罰ノ動議ノ通告ガアリマス——鶴澤總明君  
〔鶴澤總明君登壇〕  
○鶴澤總明君 諸君、本員ハ議員永井柳太郎君ニ對シ  
テ、茲ニ懲罰ノ動議ヲ提出スルコトヲ甚ダ遺憾ト思フ次第  
デアリマス、併ナガラ同君ノ昨八日ノ議場ニ於ケル演説ヲ  
速記録ニ依テ見マスレバ、ドウシテモ我衆議院ハ此儘ニ看  
過スルコトガ出來ナインデアリマス、即チ「衆議院ハ此帝國  
議會ヲ民衆ノ基礎ノ上ニ置ケヨト仰セラレタル先帝ノ御  
詔勅ニ背イテ」此明白ナル違勅ノ問題ガアルト「云フコトヲ、  
此演壇ニ於テ輕々シク口走ルガ如キコトハ、議會ノ體面ヲ  
傷クルコト甚ダシイモノデアルト思フ、更ニ又同君ハ「今日  
ノ世界ニ於テ尙ホ階級戦争ヲ主張スル者西ニハ露國過激  
派政府ノニコライレニンアリ東ニ我原總理大臣アリト云  
フ演説ガアリマス、決シテ我總理大臣ハ階級戦争ヲ主張ス  
ルモノナク、階級ノ調和ヲ圖ル上ニ於テ、常ニ努力ヲシテ  
居ルノデアリマス、加之「レニン」ノ如キ世界全體ガ反対ヲシ  
テ居リ、我政府モ之ヲ認メザル所ノ、此「レニン」ト同ジヤウ  
テ者ガ我總理大臣アルト云フガ如キ言説ハ、到底此議  
院ニ於テ看過スルコトノ出來ナイモノデアルト信スルノア  
リマス、即チ此言説ハ無責任デアリ、且ツ誣妄デアリマシテ、  
此動議ヲ提出シタ次  
第アリマス

(議事ノ進行上、吾ニハ了解スルコトガ出來ナイノデアリマス、  
「拍手起ル」ソレデモ此手續ヲ明ニシタル上ニ於テ、私共ハ  
記名投票ヲ爲サント存ジマシテ、發言ノ許可ヲ得テ此演壇  
ニ立チ、此事ヲ議長ヨリ釋明シテ戴イテ、斯ル場合ニハ如  
何ナル手續ヲ執ルカ、將來はハ先例ニモナル事ニアリマス、  
故ニ、斯ウニ云フ風ニ致スノデアルト、議長ヨリ明カナル御答  
ヲ得テ、私共之ヲ了解シ、得心シタル上ニ於テ、記名投票ニ  
加ハラント欲シタノニアリマス、然ルニ議長ハ之ヲ釋明スルコ  
トナクシテ、唯ダ私ガ一言ニ言發セントスレバ、直チニソレハ  
議事ノ進行上言フコトガ違フト稱セラレア、私ノ辯明ヲ待  
タズシテ、發言ヲ禁止サレ、而シテ演壇ヲ降リルベク命令  
サレタノデアリマス、斯ノ如キ事テアリマシテハ、私共ハ議事  
ヲ進メル上ニ於テキマシテ、甚ダ疑問ガアルノデアリマス、之ヲ  
明ニ致シテ置カナケレバ、將來此議事ニ參加スル上ニ於テ、  
迷フノデ——迷フノデアリマスルガ故ニ、茲ニ議長ノ御辯明  
ヲ請ヒ置キタイト思フノデアリマス、即チ永井君ニ當時與ヘ  
ラレタル發言ハ、現ニ今尙ホ存在シテ居ルカノ如ク見ユル  
ノデアルガ、斯ノ如キ場合ハ如何ニシテ議長ハ之ヲ御取扱  
ニナルベキモノデアルカ、之ヲ私ハ一言承リタイ（拍手起ル）  
○議長（奥繁三郎君） 御答シマス、岩崎君ノ動議ヲ採決  
○議長（奥繁三郎君） 許シマス、小山君（「登壇」ト呼フ者  
スル前ニ、永井君ニ降壇ヲ求メタノデアリマス  
「ソンナ事ハ無い」俺ガ行シテ注意シタデハナイタ、  
何故永井君ノ發言ヲ取消サヌカ「ト呼フ者アリ」  
○議長（奥繁三郎君） 言ヒマシタ（「嘘ダ」ト呼フ者アリ）  
○小山松壽君 議事ノ進行ニ就テ一言致シマス  
○議長（奥繁三郎君） 許シマス、小山君（「登壇」ト呼フ者  
アリ）  
〔小山松壽君登壇、拍手起ル〕



第三十六條中「及其ノ引受ケタル農工債券ヲ」並其ノ  
第三十九條中「農工債券ヲ」農工債券、北海道拓殖債  
券又ハ朝鮮殖產銀行、發行シタル債券ニ、「農工銀  
行ヲ農工銀行、北海道拓殖銀行又ハ朝鮮殖產銀  
行三改ム

ノ他ノ公共團體ニ於テ年賦金、定期償還金又ハ利子  
ノ拂込期日ヲ過キ其ノ拂込ヲ爲ササルトキ又ハ期限前  
ノ償還要求ニ對シ其ノ拂込ヲ爲ササルトキハ北海道  
拓殖銀行ハ監督官廳ニ其ノ處分ヲ請求スルコトヲ得  
監督官廳前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ區町村其ノ他  
ノ公共團體ニ命令シテ延滞金及遲延利子ヲ拂込マ  
シムヘシ

百三條第二項第一號乃至第三號ニ掲タル事項ヲ  
公告スベシ  
第十三條ノ四　興業債券ハ割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得  
第十六條ノ二ヲ第十六條ノ三トス  
第十六條ノ一　興業債券ノ所有者其ノ元金又ハ利子ヲ要求セサルトキハ元金ハ十五箇年利子ハ五箇年ニシテ其ノ要求ノ権ヲ失フモノトス  
第二十七條中「第十二條」ヲ「第十二條、第十三條ノ三又ハ」ニ改ム

第七 民工銀行法中改正注律案（政府提出）  
第一讀會

政府提  
第一讀會

箇年ニシテ其ノ要求ノ權ヲ失フモハトビ  
本法施用前ニ發行シケル比海道石道限元ノ債券ニ關  
附則

シテハ第十五條ノ一ノ規定ニ依ル期間ハ本法施行ノ日  
ヨリ之ヲ起算ス

第十一 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出)

六條中「三十箇年」ヲ「五十箇年」ニ、「年賦償還貸付  
總高ノ五分」一」ヲ「拂込資本金及積立金總高」ニ、  
耕地整理組合」ヲ「耕地整理組合若ハ其ノ聯合會」ニ  
工銀行法中左ノ通改正ス

第八條中「第一抵當トナルコトヲ得ヘキトキ」ノ下ニ「又ハ先順位ノ抵當權者カ農工銀行ニシテ舊貸付金額及新貸付金額カ第十條ノ制限ヲ超エサルトキ」ヲ加フ  
第二十條中「之ヲ拂込マサルトキハ」ヲ「其ノ拂込ヲ爲ササルトキ又ハ期限前ノ償還要求ニ對シ其ノ拂込ヲ爲ササルトキハ」ニ改ム

第九 北海道拓殖銀行法中改正法律案  
(政府提出) 第一讀會

第一項ノ規定ニ依リ發行スル興業債券ニハ商號及  
商法第二百七十三條第一號、第四號乃至第六號ニ掲  
タル事項ヲ記載スルコトヲ要ス。

北海道拓殖銀行法中改正法律案  
北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第一項ノ規定ニ依リ發行スル興業債券ニハ商號及  
商法第百七十三條第二號、第四號乃至第六號ニ掲  
ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス。

第八條中「耕地整理組合」ヲ「耕地整理組合若ハ其ノ聯合會」ニ「二十人」ヲ「十人」三改ム  
第八條ノ三中「貸付金總額」三分之二ヲ「貸付金總額」三改ム

第一項ノ規定ニ依リ發行スル興業債券ニハ商號及  
商法第二百七十三條第一號、第四號乃至第六號ニ掲  
ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第九條中「又ハ社債券ヲ「社債券又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券」ニ改ム

第一項ノ規定ニ依リ發行スル興業債券ニハ商號及  
商法第二百七十三條第一號、第四號乃至第六號ニ掲  
ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス  
商法第二百四條ノ三第一項ノ期間ハ興業債券ノ賣  
出期間滿了ノ日ヨリ之ヲ起算シ其ノ登記スヘキ事項  
ハ賣出期間内ニ於ケル興業債券ノ賣上總額及商法第  
百七十三條第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項トス  
賣出ノ方法ニ依リ興業債券ヲ發行シタル場合ニ於  
ケル社債ノ登記ノ申請書ニハ賣出期間内ニ於ケル興  
業債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君 議長、議事ノ進行ニ就テ、發言ヲ求メマス  
○前川虎造君 議長、議事ノ進行ニ就テ、發言ヲ求メマス

貴方ニ許シマス、一寸御待ナ下サイ  
○岩崎動君 日程第一乃至第十一ノ六案ヲ一括シテ、委員ノ數ヲ特ニ十八名トシ、議長ヨリ指名セラレンコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ニ發言ヲ許シマシタ、直グ  
又カ 「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ハナイト認メマス、仍テ岩崎君ノ動議ノ通り決シマス——前川君

〔前川虎造君登壇〕

○前川虎造君 大口君ガ今此處ニ議事ノ進行ニ就テ、議長ニ質問ヲサレタノアリマス、其要旨ハ昨日ノ混亂狀態

○議長(奥繁三郎君) 御異議ハナイト認メマス、仍テ岩崎君ノ動議ノ通り決シマス——前川君

○前川虎造君 大口君ガ今此處ニ議事ノ進行ニ就テ、議長ニ質問ヲサレタノアリマス、其要旨ハ昨日ノ混亂狀態  
デハ、將來ア、云フ事カアタ時分ニハ困ル、昨日一ツ發言ヲ許シテ置キナガラ、之ノ解決ヲ告ゲズシテ更ニ決議ヲシタ  
ト云フコトハ、議場ニ於テ將來斯様ナ事が出来テ夕時分ニハ困ルカラ、之ニ對スル議長ノ答辯ヲ求メタノアリマス、  
議長ハ答辯サレマシタカ極メテ簡単ニシテ、吾ニハ御答辯ノヤウニ受取ラレナインデ、セウ少シ深切ナル御答辯ヲ頗ヒ  
タイノデアリマス、議長ニ於テモ相當斯様ナ處置ヲ執ラレタニ就テハ、御確信ガアタデアリマセウ、ソレデモウ少シ御深  
切ニ、此處ニ彼レハカウニ云フ事情ガアタカラ、斯ウニ云フ事ニナダノデアルト云フ御説明ヲ願ヘバ、吾ニモ満足スルノアリマス、唯々簡單ニ極ク手短ノ御説アリマスカラ、吾ニ了  
解ニ苦シムノアリマス、故ニ吾ニハ更ニ議長ノ御答辯ヲ望ミマス(拍手起ル「無用」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) モウ一度答ヘマス(〔譯聽〕下呼フ  
者アリ) 岩崎君ノ動議ノ採決ヲ爲ス前ニ永井君ノ降壇ヲ求  
メマシタ、永井君ハ降壇ヲセズト暫ク此邊ヲ眺メテ居タク、ソ  
コ採決ノ時分ニ可否ノ數ニ加ハラナクテ、貴方ハ拋棄ス

致シマシタ(明瞭)ト呼ヒ拍手スル者アリ)  
○小泉又次郎君 議事ノ進行ニ就テ、發言ヲ求メマス

○議長(奥繁三郎君) 小泉又次郎君  
〔小泉又次郎君登壇〕

○小泉又次郎君 私ハ議事ノ進行ニ就テ、極メテ簡単ニ  
意見ヲ申述ヘテ見タクト思ヒマス、唯今小山松壽君カラ、  
昨日ノ散會ヲ宣告セル刹那ノ光景ニ就テ、詳シク御話ガ  
アタノデアリマス、ソレヲ拜聽致シマスレバ、議長ト小山松  
壽君トノ間ニハ既ニ發言ヲ求メ、之ニ内諾ヲ爲サレテ居ル

ト云フコトハ、議長ノ御宣告ニ依テ明カナル所デアルノアリマス、議長ガ既ニ小山君ニ發言ノ許可ヲ與ヘタケレドモ、  
諸君、凡ニ議會ノ散會ヲ告ゲマスルマデハ、議事ハ進行致シテ居ルノアリマス(拍手起ル)況ヤ昨日ハ永井君ノ質疑ガ了ヘマシテモ、當日ノ日程ハ數多残テ居ルノアリマス(ヒヤ)ト呼フ者アリ拍手起ル此神聖ナル議場ニ

於テ議長ガ散會ヲ宣告セザル間ハ、議事ハ確ニ進行中デアリマス(拍手起ル)然ルヲ議事ハ了(タカラト云フテ、一旦  
發言ヲ許シタモノヲ、無法ニモソレヲ直チニ躊躇シタト云フコトハ、他ニ何等が相當ノ理由が無ケレバナラヌト思フノアリマス、議長ハ今後ト雖モ、議場ノ整理上最モ重大ナル是ガ行掛リアリマスカラ、冷靜ニ御答辯アランコトヲ希フノアリマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 諸君、諒ニ願ヒマス今ノ小泉君ノ御尋ニ答ヘマス小泉君ハ、昨日ハ日程ガマダ澤山残テ居ルカラ、議事ハ進行中アルト仰シヤイマスガ、昨日各派ノ交渉會ニ於テ、永井君ノ質問演説デ本日ハ打切ルト云フ交渉ガアル(拍手起ル)ソレヲ議長ハ知テ居リマスカ  
テ、議事ノ進行ハ了(タカラト見テ、散會ヲ命ジタノアリマス(拍手起ル)日程第十三、明治四十年法律第二十一號中改正法律案、日程第十五朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案、之ヲ議題ニ供シマス

○岩崎動君 日程第十三号  
〔此時「議長々々」ト呼ヒ發言スル者多シ〕  
○議長(奥繁三郎君) 日程十三ハ讀ミマシタノデス——日程十三ト十五ト一括シテ讀ミマシタノデス——古賀政府委員

第一回國勢調査ハ朝鮮ニ之ヲ施行セス  
○岩崎動君 議事ノ進行ニ就テ一言致シタイ、「何ヲ言

フノダ」「ソレハイカヌ何ヲ言フノダ」ト呼ヒ發言スル者多シ  
○議長(奥繁三郎君) 日程第十三ト第十五ハ、同時ニ  
說明致シタイト云フノアリマス

○岩崎動君 判リマシタ  
〔政府委員古賀廉造君登壇〕

○政府委員(古賀廉造君) 日程第十三ハ、樺太ニ於ケル租稅課目中ニ、特別ナル所得稅ヲ追加シヤウト云フ案デゴザイマス、從來樺太ニ於テハ、所得稅法ヲ施行シテ居リマス太ニ限テ所得稅ヲ施行シヤウト云フ案デゴザイマス、御密議ノ上ニ御賛成ヲ願ヒマス、ソレカラ次ハ朝鮮ニ於ケル國勢調查ニ關スル件デゴザイマス、是ハ本年十月ニ、全國ニ互テ國勢調查ヲスルコトニナシテ居リマス、朝鮮モ無論其範圍ニ入シテ居リマス、然ルニ此國勢ノ調査ヲ致シマスニ方テ、朝鮮ニハ約十万人ノ人ヲ要スル、十万人ノ人が今日ノ場合、朝鮮ニ於テ此職務ニ任ズルノガ足リナインデゴザイマス、僅ニ五万人シカ無ノアリマス、此不足五万人ト云フモノヲ、僅ニ三四箇月間ニ之ヲ準備スルト云フコトハ出來マセヌノア、既已ムヲ得ス今度ノ國勢調査ニハ、朝鮮ノ方ダケハ延期フスルト云フ法律案デゴザイマス、御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第十四右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス  
○岩崎動君 本案ハ所得稅法中改正法律案外五件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス  
〔贊成々々」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 日程第十四右議案ノ審査ヲ付託ノ選舉

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシモト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第十六、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

### 第十三 明治四十年法律第二十一號中改 正法律案(政府提出) 第一讀會

明治四十年法律第二十一號中改正法律案  
第一條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ  
四 所得稅

本法ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前三終了シタル法人ノ各事業年度分ノ所得

ニ付テノ仍從前ノ例ニ依ル

第十五 朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル  
法律案(政府提出) 第一讀會

朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル法律案

## 第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 本案ハ大正八年法律第五號中改正法律案ノ委員ニ併セ付託セラレントコトヲ望ミマス  
〔賛成々々ト呼フ者アリ〕  
○議長(奥繁三郎君) 岩崎勳君ノ動議ニ御異議アリマスカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(奥繁三郎君) 異議ナキモノト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——三木君  
〔三木武吉君登壇、拍手起ル〕  
○三木武吉君 私ハ〔私ハト呼フ者アリ〕議事ノ進行ニ關シテ發言ヲ求メ、幸ニシテ其許可ヲ得タノアリマス、私ノ發言ノ趣旨ハ、昨日散會前後ニ於ケル小山君ノ發言ノ要求ト議長ノ散會ノ宣告ノ間ニ於テ、果シテ法規典例ヲ無視スル議長ノ行爲ガ有ツタカ無カト云フ其爭ニ就テ議長ノ主張セラル、所ト小山君ノ主張セラル、所ノ争點ハ、議長ハ各派交渉會ニ於ケル當テ吾ニセラレタル言明ヲ重ンジラレ、議事ニ差支ナイ程度ニ於テ、議事進行ニ關スル發言ハ許スト云フ精神カラ、非公式ニ前以テ小山君ノ發言ニ對シテ、同意ヲ與ヘラテ居ダノアリマス、而モ其同意ハ小山君ニ對シテ、特ニ散會宣告ノ機會ヲ逸セザルヤウニト云フ、格別ノ注意マデモ深切的ニセラレテ、ソレヲ與ヘラテ居ダタノアリマス(拍手起ル)私ハ此點ニ於テ、議長ノ小山君ニ對シテ執ラレタル處置ハ頗ル公平深切ナモノデアルト思ウテ、敬意ヲ表シマス(ソレデ宜シト呼フ者アリ)此經緯ヨリ致シマシテ、小山君ハ發言ヲ求メラレ、議長ハ小山君ノ氏名ヲ呼上げラレタ、然ラバ直チニ小山君ニ對シテ、其發言ノ許可ヲセラレナケレバナラナイ理由デアルニ拘ラズ、其發言ヲ許サナカグ、唯今議長ノ御辨明ヲ伺ヒマスルト、議長ガ小山君ニ對シテ發言ヲ許スベキニ拘ラズ、許サマリシ理由ハ、既ニ昨日ノ議事ヲ終タガ故ニ、許サナカタノガアルト言ハレタノアリマス、是ニ於テカ議長ハ之ヲ今日ハオ終ヒト言ハレタノアリマス、是ニ於テカ議長ハ之タカ居ラナカタト云フ、此事實ガ争ノ焦點ニナルノアリマス(拍手起リ)ヒヤー(下呼フ者アリ)私ハ(發言スル者多ク「静ニシナイカ」ト呼フ者アリ)諸君ニ對シテ申上ダケレバナラヌ、議長ニ對シテ反省ヲ願ハナケレバナラヌ、議院規則ニ依リマスト、議長ガ散會ヲ宣告スルマデハ、尙ホ會議ヲ開イテ居ルモノト言ハナケレバナラヌ(拍手起ル)議事ヲ進行シテ居ルモノト謂ハナケレバナラヌ、又事實ニ就テ見マシテモ、昨日ノ議事日程ハ山ノ如クアッテ、今日尙ホソレヲ議了セんガ爲メニ、諸君ハ此處ニ集ハレテ居ルノアリマス、

## 第十七 北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

ト云フコトハ、何人ガ見テモ疑ヒナインデアリマス(拍手起ル)議長ハ此爭ナキ事實ニ對スル辯明ヲ致シマシテ、既ニ各派交渉會ニ於テ永井君ノ質疑ヲ終レバ、會議ハ之ヲ以テ定シレ自身ヲ以テ議事ハ既ニ了レリト認メルノガ、至當デアルト云フコトヲ辯明セラレタノアリマス、私ハ議長ニ問ハナケレバナラヌ、各派交渉會ハ、果シテ議長ノ権利ヲ束縛スルノ權限ヲ有ツ會合デアリマセウカ、各派交渉會ノ決定ハ、議長ノ職權ヲ拘束スルノ力ガアルノデゴザリセウカ、各派交渉會ニ於テ、議事ヲ之ニテ打切ルト云フ決定ヲシタ場合ニ於テハ、議長ノ宣告ヲ待タズシテ、會議ヲ了シタモノト看做スコトガ出來ルノアリマス(拍手)若シ議長ノ宣告ノ如何ニ拘ラズ、各派交渉會ノ決定ハ、動カスコトガ出來ナイモノデアルト議長が見フル、ナラバ、我輩ハ更ニ聽カナケレバナラヌ、議長ハ岩崎勳君ノ其前ニ於ケル發言ヲ許サレタ、其理由ハドウ云フノデアルカ、各派交渉會ニ決定ヲセラレテ居ダケレドモ、其決定ニ違フ發言ガアル、而シテ院議ニ賛成デアルカラ、岩崎君ノ發言ヲ許シタノデアル、即チ院議ハ各派交渉會ノ決議ヨリハ重イノデアルト一方ニ於テ見ラレテ居ル(無論ノ話、其通リ)ト呼フ者アリ同ジ議場ニ於テ同ジ會議中ニ於テ、已レニ都合好ケレバ、院議ハ交渉會ノ決定ヨリ重シト做シ、都合惡シケレバ、各派交渉會ノ決定ガアル故ニ、院議ニ間ハズシテ解散(笑聲起ル)ハ既ニ爲シ丁タモノデアル、或ハ議事ハ既ニ終了シタモノデアル、議事ハ既ニ終了シタモノデアルト言ハレルニ至シテハ、餘リニ傍若無人、横暴ノ極ト私ハ謂ハナケレバナラヌト思フ(拍手起ル)議長ハ果シテ各派交渉會ノ相談デ纏タ其事柄ガ、議事打切ト云フコトデアッタナラバ、議長ガ日程ノ變更、其他ノ事ヲ議場ニ諮ラナイ以前ニ於テ既ニ議事ガ了タモノデアルト今後モ繰返シテ看做サレルノデアルカ、若シ然ラズシテカタノガアルト言ハレタノアリマス、是ニ於テカ議長ハ之ヲ今日ハオ終ヒト言ハレタ前ニ、果シテ議事ガ了ラレテ居タカ居ラナカタト云フ、此事實ガ争ノ焦點ニナルノアリマス(拍手起リ)ヒヤー(下呼フ者アリ)私ハ(發言スル者多ク「静ニシナイカ」ト呼フ者アリ)諸君ニ對シテ申上ダケレバナラヌ、議長ニ對シテ反省ヲ願ハナケレバナラヌ、議院規則ニ依リマスト、議長ガ散會ヲ宣告スルマデハ、尙ホ會議ヲ開イテ居ルモノト謂ハナケレバナラヌ、又事實ニ就テ見マシテモ、昨日ノ議事日程ハ山ノ如クアッテ、今日尙ホソレヲ議了セんガ爲メニ、諸君ハ此處ニ集ハレテ居ルノアリマス、

(七)

## 第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(奥繁三郎君) 内務大臣ノ説明ヲ求メマス  
(國務大臣床次竹次郎君登壇、拍手起ル)  
○國務大臣(床次竹次郎君) 北海道拓殖ノ促進ノ爲メニハ、交通機關ノ完備ヲ要スルコトハ申上ダルマデモザイスクトガ出來ルノアリマス(拍手)若シ議長ノ宣告ノ如何ニ拘ラズ、各派交渉會ノ決定ハ、動カスコトガ出來ナイモノデアルト議長が見フル、ナラバ、我輩ハ更ニ聽カナケレバナラヌ、議長ハ岩崎勳君ノ其前ニ於ケル發言ヲ許サレタ、其理由ハドウ云フノデアルカ、各派交渉會ニ決定ヲセラレテ居ダケレドモ、其決定ニ違フ發言ガアル、而シテ院議ニ賛成デアルカラ、岩崎君ノ發言ヲ許シタノデアル、即チ院議ハ各派交渉會ノ決議ヨリハ重イノデアルト一方ニ於テ見ラレテ居ル(無論ノ話、其通リ)ト呼フ者アリ同ジ議場ニ於テ同ジ會議中ニ於テ、已レニ都合好ケレバ、院議ハ交渉會ノ決定ヨリ重シト做シ、都合惡シケレバ、各派交渉會ノ決定ガアル故ニ、院議ニ間ハズシテ解散(笑聲起ル)ハ既ニ爲シ丁タモノデアル、或ハ議事ハ既ニ終了シタモノデアル、議事ハ既ニ終了シタモノデアルト言ハレルニ至シテハ、餘リニ傍若無人、横暴ノ極ト私ハ謂ハナケレバナラヌト思フ(拍手起ル)議長ハ果シテ各派交渉會ノ相談デ纏タ其事柄ガ、議事打切ト云フコトデアッタナラバ、議長ガ日程ノ變更、其他ノ事ヲ議場ニ諮ラナイ以前ニ於テ既ニ議事ガ了タモノデアルト今後モ繰返シテ看做サレルノデアルカ、若シ然ラズシテカタノガアルト言ハレタノアリマス、是ニ於テカ議長ハ之ヲ今日ハオ終ヒト言ハレタ前ニ、果シテ議事ガ了ラレテ居タカ居ラナカタト云フ、此事實ガ争ノ焦點ニナルノアリマス(拍手起リ)ヒヤー(下呼フ者アリ)私ハ(發言スル者多ク「静ニシナイカ」ト呼フ者アリ)諸君ニ對シテ申上ダケレバナラヌ、議長ニ對シテ反省ヲ願ハナケレバナラヌ、議院規則ニ依リマスト、議長ガ散會ヲ宣告スルマデハ、尙ホ會議ヲ開イテ居ルモノト謂ハナケレバナラヌ、又事實ニ就テ見マシテモ、昨日ノ議事日程ハ山ノ如クアッテ、今日尙ホソレヲ議了セんガ爲メニ、諸君ハ此處ニ集ハレテ居ルノアリマス、

## 第十九 松田源治君ノ委員請君ハ第十委員室ヘ御參集ヲ願ヒマス(拍手)

○松田源治君 所得稅法案ノ委員會ヲ本會中ニ開會致サウト思ヒマスカラ、御許可ヲ願ヒマス  
○議長(奥繁三郎君) 許可シテ差支アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕  
○議長(奥繁三郎君) 許可シテ異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕  
○議長(奥繁三郎君) 許可シテ異議アリマセヌカ  
〔異議ナシ〕  
○佐々木安五郎君 許可致シマス  
○佐々木安五郎君 議長

- 議長(奥繁三郎君) 佐々木君  
〔佐々木安五郎君登壇、拍手起ル〕
- 武藤金吉君 豫算第五分科會ヲ是カラ開キタイト思ヒ  
マス、御許シヲ願ヒマス
- 議長(奥繁三郎君) 許シテ差支アリマセスカ
- 〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(奥繁三郎君) 差支ナイト認メマス
- 佐々木安五郎君 本員ハ議場整理ニ就テ一言致シタ  
イ、昨日ノ閉會ニ際シテ、議長ハ果シテ成規ノ手續ヲ履ンデ  
居ルカドウデアルカ、議院規則ノ第五章議事日程第七十  
八條ニ依ルト、議長ハ會議ノ終ニ於テ次會ノ議事日程ヲ  
議院ニ報告スヘシトアリマス(然リ)ト呼フ者アリ然ルニ昨  
日ハ會議ノ終ニ於テ、次ノ議事日程ノ何等ノ報告ナク、  
議事ハ之ニテ終ヒ、止メル、斯ウ言ハレタ、(拍手笑聲起ル)  
是ハ如何ナル根據ガアテ斯様ナ事ヲヤラレルカ、唯今承  
ト云フコトヲ言ハレマスルガ、各派交渉會ニ加シテ居ルノ人  
ミガ議員デアツテ、各派交渉會ニ加ハラザル吾ニ無所屬ハ議  
員ニ非サルカ(拍手起ル)是ハ議長ガマルデ議會其物ノ性  
質ヲ知ラナイカラズアル(拍手起ル)殊ニ之ニ就テ私カ感ジ  
マスノハ、各派交渉會其物カラ本體ノ知レヌ怪物デアル、昨  
日ノ質疑ト云フコトハ、政友會ニシテハ攻メラレル方ニア  
ル、憲政會及國民黨ハ攻メル方デアル、攻メル方デアルナラ  
バ、徹頭徹尾攻メ抜クマデ攻メルガ宜イデハナイカ、攻メルト  
云フ役者マデ拘ヘテ置キナガラ、途中テ自ラ之ヲ止メルト云  
フ不徹底ナ事カアルカ、是ハドウ云フ譯ダ、自己ノ権利ヲ自  
己ガ抛棄シテ、而シテ議院政治ノ成果を得ラレル思フカ、  
是ガ即チ國民黨並ニ憲政會兩ツナガラ不徹底ノ極デアル、  
ト思フソレヲ言フノデアル(拍手起ル)討論終結ノ場合ト、  
質疑終結ノ場合トハ場合ガ違フ、討論終結ハ討論ノ意思  
ガ徹底セリト議場ニ認メラレタ時ハ、何人ニモ行渡テ居ル  
カラ、即シイガ、質疑ト云フモノハ其大臣ニ對スル疑デアル、  
疑ガ議長一片ノ命令ニ依テ消エル筈ガナイ、初メカラ汝等  
質疑ヲ止メルベシト命令サレラ皆ト質疑ヲ止メルカ、ソニモ拘ラズ、動  
ナ馬鹿ナ事ガアルモノデハナイ、疑ト云フモノハ消エルモノデ  
ハナイ、思想ヲ消ヤスト云フコトハ出來ルモノデハナイ、思想  
ヲ闇カラ闇ヘ葬ルノハ、思想ノ墮胎罪ヲ犯スモノデアルト云  
フコトヲ覺悟召サレ(拍手笑聲起ル)ソニモ拘ラズ、動  
モスレバ閥族ヲ攻撃スル所ノ國民黨及憲政會ガ——政友  
會ハ最早論外ダガ(笑聲起ル)——國民黨及憲政會ガ、議  
院ノ中ニ交渉間ナルモノヲ作テ、吾ニ無所屬議員ヲ其仲  
間ニ入レヌト云フノハ何トシタ譯デアルカ、(拍手起ル)何ト  
カ言開キガアルカ、議長ガ又斯ノ如キ惡習慣ヲ是認シテ、已

レノ権利ヲ交渉會ノ家事ノ如ク取扱ハレテ、ソレデモ平然  
トシテ居ルト云フ無耻厚顔ノ至リデアル、故ニ我輩ハ今後  
交渉會カラ來タ何事ト雖モ、議場ニ正々堂々ト聽カサルコ  
トハ其交渉ヲ承認セヌ、同時ニ飽マデモ議長カ交渉會ニ隸  
屬スルト云フノハ、如何ナル根據ガアテ斯ノ如キ事ヲシタ  
カ、明カニ確答ヲシテ戴キタイ(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 議長ハ議院規則ヲ無視シテ居リ  
マセヌ、又其翌日ノ——次ノ開會日ノ日程ハ公報ニ依テ通  
知シ、〔佐々木安五郎君〕公報ハ會議ノ終リデナイ(ト呼フ)  
併シ尙少各派交渉ノ御尋ニ就テ、前例ヲ調べテ、緩クリ  
調べ後ニ御答致シマス——日程第十九、議院法中改正  
法律案、第一讀會ヲ開キマス

## 第十九 議院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

### 第一讀會

#### 議院法中改正法律案

第十九條中「五千圓」ヲ「七千五百圓」ニ「三千圓」ヲ「四  
千五百圓」ニ「二千圓」ヲ「三千圓」ニ改ム

本法ハ大正九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員横田千之助君登壇、拍手起ル〕  
○横田政府委員 政府ハ一般經濟界ノ推移ニ基シキマ  
シテ、議院法第十九條ヲ改正シテ、貴衆兩院ノ議長、副議  
長、兩院議員ノ歳費增加ノ計畫之ニ關スル法案ヲ提出致  
シマシタカラ、付率速ニ御協賛ヲ仰グコトニ願ヒマス(拍手  
起ル)

○議長(奥繁三郎君) 日程第二十、右議案ノ審査ヲ付  
託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

## 第二十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員

### ノ選舉

○議長(奥繁三郎君) 岩崎勤君  
〔委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラ  
レントコトヲ望ミマス〕

〔「贊成」「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ異議アリマセスカ  
〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ  
如ク決シマス——日程第二十一、第二十二ノ議案ハ、同種

關聯シタル議案アリマスカラ、一括シテ議題ト爲シマス、  
異議アリマセスカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 異議ナシト認メマス、第二十一少  
年法案第二十三矯正院法案ヲ一括シテ、議題ト致シ、其  
第一讀會ヲ開キマス

## 第二十一 少年法案(政府提出) 第一讀會

### 少年法案

#### 第一章 通則

#### 第二章 保護處分

第一條 本法ニ於テ少年ト稱スルハ十八歳ニ満タサル  
者ヲ謂フ

第二條 少年ノ刑事處分ニ關スル事項ハ本法ニ定ムル  
モノノ外一般ノ例ニ依ル

第三條 本法ハ第七條、第八條、第十條乃至第十四條  
ノ規定ヲ除クノ外陸軍刑法第八條、第九條及海軍  
刑法第八條、第九條ニ掲ゲル者ニ之ヲ適用セス

第四條 刑罰法令ニ觸ル行爲ヲ爲シ又ハ刑罰法令  
ニ觸ル行爲ヲ爲ス虞アル少年ニ對シテハ左ノ處分  
ヲ爲スコトヲ得

第五條 學校長ノ訓誡ニ委スルコト

第六 東京府立病院ニ送致スルコト

第七 感化院ニ送致スルコト

第八 病院ニ送致スルコト

第九 病院ニ送致又ハ委託スルコト

前項各號ノ處分ハ適宜併セテ之ヲ爲スコトヲ得

第十條 前條第一項第五號乃至第九號ノ處分ハ二  
十三歳ニ至ル迄其ノ執行ヲ繼續シ又ハ其ノ執行ノ  
繼續中何時ニテモ之ヲ取消シ若ハ變更スルコトヲ得

第十一條 少年ニシテ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケ又ハ假  
出獄ヲ許サレタル者ハ猶豫又ハ假出獄ノ期間内少年

保護司ノ觀察ニ付ス

前項ノ規定ニ依リ第四條第一項第七號又ハ第八號  
ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ執行ノ繼續中少年保護

司ノ觀察ヲ停止ス

### 第三章 刑事處分

第七條 罪ヲ犯ス時十六歳ニ満タサル者ニシテ刑

期刑ヲ科セス死刑又ハ無期刑ヲ以テ處斷スヘキトキハ

十年以上十五年以下ニ於テ懲役又ハ禁錮ヲ科ス

犯シタル者ニハ前項ノ規定ヲ適用セス

第八條 少年ニ對シ長期三年以上ノ有期ノ懲役又ハ

禁錮ヲ以テ處斷スヘキトキハ其ノ刑ノ範圍内ニ於テ

短期ト長期トヲ定メ之ヲ言渡ス但シ短期五年ヲ超エ

ル刑ヲ以テ處斷スヘキトキハ短期ヲ五年ニ短縮ス

前項ノ規定ニ依リ言渡スヘキ刑ノ短期ハ五年長期ハ

十年ヲ超ユルコトヲ得ス

刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲スヘキ場合ニハ前二項ノ規

定ヲ適用セス

第九條 懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタル少年ニ對シテ

ハ特ニ設ケタル監獄又ハ監獄内ノ特ニ分界ヲ設ケタ

ル場所ニ於テ其ノ刑ヲ執行ス

本人十八歳ニ達シタル後ト雖二十三歳ニ至ル迄ハ前

項ノ規定ニ依リ執行ヲ繼續スルコトヲ得

第十條 少年ニシテ懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタル者

ニハ左ノ期間ヲ經過シタル後假出獄ヲ許スコトヲ得

一 無期刑ニ付テハ七年

二 第七條第一項ノ規定ニ依リ言渡シタル刑ニ付テ

ハ三年

三 第八條第一項及第二項ノ規定ニ依リ言渡シタ

ル刑ニ付テハ其ノ刑ノ短期ノ三分の一

第十一条 少年ニシテ無期刑ノ言渡ヲ受ケタル者假出

獄ヲ許サレタル後其ノ處分ヲ取消サルコトナクシテ

十年ヲ經過シタルトキハ刑ノ執行ヲ終リタルモノトス

少年ニシテ第七條第一項又ハ第八條第一項及第二

項ノ規定ニ依リ刑ノ言渡ヲ受ケタル者假出獄ヲ許サ

レタル後其ノ處分ヲ取消サルコトナクシテ假出獄前

ニ付テハシタルト同一ノ期間ヲ經過シタルトキ

亦前項ニ同シ

第十二条 少年ノ假出獄ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ

之ヲ定ム

第十三条 少年ニ對シテハ勞役場留置ノ言渡ヲ爲サ

ス

第十四条 少年ノ時犯シタル罪ニ因リ死刑又ハ無期

刑ニ非サル刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ執行ヲ終ヘ

令ノ適用ニ付テハ將來工向テ刑ノ言渡ヲ受ケサリシ

モノト看做ス

少年ノ時犯シタル罪ニ付刑ニ處セラレタル者ニシテ刑

ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルモノハ其ノ猶豫期間中刑

ヲ執行ヲ終ヘタルモノト看做シ前項ノ規定ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消サレタ

ルトキハ人ノ資格ニ關スル法令ノ適用ニ付テハ其ノ

取消サレタル時刑ノ言渡アリタルモノト看做ス

第四章 少年審判所ノ組織

第十五条 少年ニ對シ保護處分ヲ爲ス爲少年審判所

ヲ置ク

第十六条 少年審判所ノ設立、廢止及管轄ニ關スル

規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七条 少年審判所ハ司法大臣ノ監督ニ屬ス

司法大臣ハ控訴院長及地方裁判所長ニ少年審判所

所ノ監督ヲ命スルコトヲ得

第十八条 少年審判所ニ少年審判官、少年保護司及

書記ヲ置ク

第十九條 少年審判官ハ單獨ニテ審判ヲ爲ス

第二十条 少年審判官ハ少年審判所ノ事務ヲ管理シ

所部ノ職員ヲ監督ス

二人以上ノ少年審判官ヲ置キタル少年審判所ニ於

テハ上席者前項ノ規定ニ依ル職務ヲ行フ

コトヲ得

判事タル資格ヲ有スル少年審判官ハ判事ヲ兼ヌルコ

トヲ得

第二十二条 少年審判官審判ノ公平ニ付嫌疑ヲ生ス

ヘキ事由アリト思料スルトキハ職務ノ執行ヲ避クシテ

第二十三条 少年保護司ハ少年審判官ヲ補佐シテ審

判ノ資料ヲ供シ觀察事務ヲ掌ル

少年保護司ハ少年保護事業ニ經験ヲ有スル者其ノ

他適當ナル者ニ對シ司法大臣之ヲ嘱託スルコトヲ得

第二十四条 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ審判ニ關スル

書類ノ調製ヲ掌リ庶務ニ從事ス

第二十五条 少年審判所及少年保護司ハ其ノ職務ヲ

行フニ付公務所又ハ公務員ニ對シ囑託ヲ爲シ其ノ他

必要ナル補助ヲ求ムルコトヲ得

第五章 少年審判所ノ手續

第二十六条 大審院ノ特別權限ニ屬スル罪ヲ犯シタル

者ハ少年審判所ノ審判ニ付セス

第二十七条 左ニ記載シタル者ハ裁判所又ハ檢察院

送致ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外少年審判所ノ審判ニ付セス

ハ矯正院ニ委託スルコトヲ得

三 病院ニ委託スルコト

四 少年保護司ノ觀察ニ付スルコト

已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ本人ヲ假ニ感化院又

ハ矯正院ニ委託スルコトヲ得

一 死刑、無期又ハ短期三年以上ノ懲役若ハ禁錮

ニ該ルヘキ罪ヲ犯シタル者

二 十六歳以上ニシテ罪ヲ犯シタル者

第三十條 通告ヲ爲スニハ其ノ事由ヲ開示シ成ルヘ

ク本人及其ノ保護者ノ氏名、住所、年齢、職業、性行

等ヲ申立て且参考ト爲ルヘキ資料ヲ差出スヘシ

通告ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得口頭ノ

通告アリタル場合ニ於テハ少年審判所ノ職員其ノ申

立ヲ錄取スヘシ

第三十一條 少年審判所審判ニ付スヘキ少年アリト

思料シタルトキハ事件ノ關係及本人ノ性行、境遇、經

歴、心身ノ狀況、教育ノ程度等ヲ調查スヘシ

心身ノ狀況ニ付テハ成ルヘク醫師ヲシテ診察ヲ爲サシ

ムヘシ

第三十二條 少年審判所ハ少年保護司ニ命シテ必要

ナル調査ヲ爲サシムヘシ

第三十三條 少年審判所ハ事實ノ取調ヲ保護者ニ命

シ又ハ之ヲ保護團體ニ委託スルコトヲ得

保護者及保護團體ハ參考ト爲ルヘキ資料ヲ差出スコ

トヲ得

第三十四條 少年審判所ハ参考人ニ出頭ヲ命シ調査

ノ爲必要ナル事實ノ供述又ハ鑑定ヲ爲サシムルコトヲ

得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ供述又ハ鑑定

ノ領ヲ錄取スヘシ

第三十五條 參考人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ費用ヲ

請求スルコトヲ得

第三十六條 少年審判所ハ必要ニ依リ何時ニテモ少

年保護司ヲシテ本人ヲ同行セシムルコトヲ得

第三十七條 少年審判所ハ事情ニ從ヒ本人ニ對シ假

ニ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 條件ヲ附シ又ハ附セシテ保護者ニ預クルコト

二 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託ス

三 病院ニ委託スルコト

四 少年保護司ノ觀察ニ付スルコト

已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ本人ヲ假ニ感化院又

ハ矯正院ニ委託スルコトヲ得

第一項第一號乃至第三號ノ處分アリタルトキハ本人  
ヲ少年保護司ノ觀察ニ付ス  
第三十八條 前條ノ處分ハ何時ニテモ之ヲ取消シ又ハ  
變更スルコトヲ得  
第三十九條 前三條ノ場合ニ於テハ速ニ其ノ旨ヲ保護  
者ニ通知スヘシ  
第四十條 少年審判所調査ノ結果ニ因リ審判ヲ開  
始スヘキモノト思料シタルトキハ審判期日ヲ定ムヘシ  
第四十一條 審判ヲ開始セサル場合ニ於テハ第三十  
七條ノ處分ハ之ヲ取消スヘシ  
第三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
第四十二條 少年審判所審判ヲ開始スル場合ニ於テ  
必要アルトキハ本人ノ爲附添人ヲ附スルコトヲ得  
本人、保護者又ハ保護團體ハ少年審判所ノ許可ヲ  
受ケ附添人ヲ選任スルコトヲ得  
附添人ハ辯護士、保護事業ニ從事スル者又ハ少年審  
判所ノ許可ヲ受ケタル者ヲ以テ之ニ充ツヘシ  
第四十三條 審判期日ニハ少年審判官及書記出席ス  
ヘシ  
少年保護司ハ審判期日ニ出席スルコトヲ得  
審判期日ニハ本人、保護者及附添人ヲ呼出スヘシ但  
シ實益ナシト認ムルトキハ保護者ハ之ヲ呼出ササルコ  
トヲ得  
第四十四條 少年保護司、保護者及附添人ハ審判ノ  
席ニ於テ意見ヲ陳述スルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テハ本人ヲ退席セシムヘシ但シ相當  
ノ事由アルトキハ本人ヲ在席セシムルコトヲ得  
第四十五條 審判ハ之ヲ公行セス但シ少年審判所ハ  
本人ノ親族、保護事業ニ從事スル者其ノ他相當ト認  
ムル者ニ在席ヲ許スコトヲ得  
第四十六條 少年審判所審理ヲ終ヘタルトキハ第四  
十七條乃至第五十四條ノ規定ニ依リ終結處分ヲ爲  
スヘシ  
第四十七條 刑事訴追ノ必要アリト認メタルトキハ事  
件ヲ管轄裁判所ノ検事ニ送致スヘシ  
裁判所又ハ検事ヨリ送致ヲ受ケタル事件ニ付新ナル  
事實ノ發見ニ因リ刑事訴追ノ必要アリト認メタルト  
キハ管轄裁判所ノ検事ニ手續ヲ爲スヘシ  
前二項ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ本人及保護  
者ニ通知スヘシ  
檢事ハ第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタ  
ル事件ニ付爲シタル處分ヲ少年審判所ニ通知スヘシ

第四十八條 訓誠ヲ加フヘキモノト認メタルトキハ本人  
ニ對シ其ノ非行ヲ指摘シ將來遵守スヘキ事項ヲ諭告  
スヘシ  
第四十九條 學校長ノ訓誠ニ委スヘキモノト認メタル  
誠ヲ加フヘキ旨ヲ告知スヘシ  
第五十條 改心ノ誓約ヲ爲サシムヘキモノト認メタル  
トキハ本人ヲシテ誓約書ヲ差出サシムヘシ  
前項ノ場合ニ於テハ成ルヘク保護者ヲシテ立會ハシメ  
且誓約書ニ連署セシムヘシ  
第五十一條 條件ヲ附シテ保護者ニ引渡スヘキモノト  
認メタルトキハ保護者ニ對シ本人ノ保護監督ニ付必  
要ナル條件ヲ指示シ本人ヲ引渡スヘシ  
第五十二條 寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ  
委託スヘキモノト認メタルトキハ委託ヲ受クヘキ者ニ  
對シ本人ノ處遇ニ付參考ト爲ルヘキ事項ヲ指示シ保  
護監督ノ任務ヲ委嘱スヘシ  
第五十三條 少年保護司ノ觀察ニ付スヘキモノト認メ  
タルトキハ少年保護司ニ對シ本人ノ保護監督ニ付必  
要ナル事項ヲ指示シ觀察ニ付スヘシ  
第五十四條 感化院、矯正院又ハ病院ニ送致又ハ委  
託スヘキモノト認メタルトキハ其ノ長ニ對シ本人ノ處  
遇ニ付参考ト爲ルヘキ事項ヲ指示シ本人ヲ引渡スヘ  
シ  
第五十五條 刑罰法令ニ觸ル行爲ヲ爲ス虞アル少  
年ニ對シ前三條ノ處分ヲ爲ス場合ニ於テ適當ナル親  
權者、後見人、戸主其ノ他ノ保護者アルトキハ其ノ承  
諾ヲ經ヘシ  
第五十六條 少年審判所ノ審判ニ付テハ始末書ヲ作  
リ審判ヲ經タル事件及終結處分ヲ明確ニシ其ノ他必  
要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ  
第五十七條 少年審判所第第四十八條乃至第五十二  
條及第五十四條ノ處分ヲ爲シタルトキハ保護者、學  
校長、受託者又ハ感化院、矯正院若ハ病院ノ長ニ對  
シ成績報告ヲ求ムルコトヲ得  
第五十八條 少年審判所第五十一條及第五十二條  
ノ處分ヲ爲シタルトキハ少年保護司ヲシテ其ノ成績  
ヲ觀察シ適當ナル指示ヲ爲サシムルコトヲ得  
第五十九條 少年審判所第四十八條乃至第五十四  
條ノ處分ヲ爲シタル後審件ヲ經タル事件第二十六條  
又ハ第二十七條第一號ニ記載シタルモノナルコトヲ

第四十九條 第六章 檢事少年ニ對スル刑事案件ニ付少年審  
判所ニ送致スヘシ  
第六十條 第四條ノ處分ヲ受ケタル少年ニ對シテハ  
審判ヲ經タル事件又ハ之ヨリ輕刑ニ該ルヘキ事件  
ニシテ處分前三犯シタルモノニ付刑事訴追ヲ爲スコト  
ヲ得ス但シ第五十九條ノ規定ニ依リ處分ヲ取消シタ  
ル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
第六十二条 檢事少年ニ對スル刑事案件ニ付少年審  
判所ニ送致スヘシ  
第六十三条 第四條ノ處分ヲ受ケタル少年ニ對シテハ  
審判ヲ經タル事件又ハ之ヨリ輕刑ニ該ルヘキ事件  
ニシテ處分前三犯シタルモノニ付刑事訴追ヲ爲スコト  
ヲ得ス但シ第五十九條ノ規定ニ依リ處分ヲ取消シタ  
ル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
第六十四条 少年ニ對スル刑事案件ニ付テハ第三十  
一條ノ調査ヲ爲スヘシ  
第六十五条 裁判所ハ公判期日前前條ノ調査ヲ爲シ  
又ハ受命判事ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得  
第六十六条 裁判所又ハ豫審判事ハ職權ヲ以テ又ハ  
檢事ノ申立ニ因リ第三十七條ノ規定ニ依ル處分ヲ  
爲スコトヲ得  
第六十七条 及第三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之  
ヲ準用ス  
第六十八条 勾留狀ハ已ムコトヲ得サル場合ニ非サレ  
ハ少年ニ對シテ之ヲ發スルコトヲ得ス  
拘置監ニ於テハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外少年  
ヲ獨居セシムヘシ  
第六十九條 少年ノ被告人ハ他ノ被告人ト分離シ其  
ノ接觸ヲ避ケシムヘシ

第六十九條 少年ニ對スル被告事件ハ他ノ被告事件ト牽連スル場合ト雖審理ニ妨ナキ限り其ノ手續ヲ分離スヘシ

第七十條 裁判所ハ事情ニ依リ公判中一時少年ノ被告人ヲ退廷セシムルコトヲ得

第七十一條 第一審裁判所又ハ控訴裁判所審理ノ結果ニ因リ被告人ニ對シ第四條ノ處分ヲ爲スヲ相當ト認メタルトキハ少年審判所ニ送致スル旨ノ決定ヲ爲スヘシ

檢事ハ前項ノ決定ニ對シ三日内抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 第六十六條ノ處分ハ事件ヲ終局セシムル裁判ノ確定ニ因リ其ノ效力ヲ失フ

第七十三條 第四十二條、第四十三條、第二項第三項及第四十四條ノ規定ハ公判ノ手續ニ第一項第三項及第六十一條ノ規定ハ豫審又ハ公判ノ手續ニ之ヲ準用ス

#### 第七章 罰則

第七十四條 少年審判所ノ審判ニ付セラレタル事項又ハ少年ニ對スル刑事案件ニ付豫審又ハ公判ニ附セラレタル事項ハ之ヲ新聞紙其ノ他ノ出版物ニ掲載スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ新聞紙ニ在リテハ編輯人及發行人、其ノ他ノ出版物ニ在リテハ著作者及發行者ヲ一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

#### 附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

### 第二十三 矯正院法案(政府提出)

#### 第一讀會

矯正院法案

第一條 矯正院ハ刑罰法令ニ觸ル行爲ヲ爲シ又ハ刑罰法令ニ觸ル行爲ヲ爲ス虞アル十二歳以上ノ性狀特ニ不良ナル者ヲ收容スル所トス

第二條 矯正院ニ收容スヘキ者ハ少年審判所ヨリ送致シタルモノ及民法第八百八十二條ノ規定ニ依リ入院ノ許可アリタルモノニ限ル

第三條 矯正院ニ收容シタル者ノ在院ハ二十三歳ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 矯正院ニハ特ニ區劃シタル場所ヲ設ケ少年審

判所、裁判所、又ハ豫審判事ヨリ假ニ委託シタル者ヲ置ク

第五條 矯正院ハ收容スヘキ者ノ男女ノ別ニ從ヒ之ヲ設ク

第六條 十六歳ニ満タサル者ト十六歳以上ノ者トハ分界ヲ設ケタル場所ニ各別ニ之ヲ收容ス

第七條 矯正院ハ之ヲ國立トス

第八條 司法大臣ハ少クトモ六月毎ニ一回官吏ヲシテ矯正院ヲ巡察セシムヘシ

第九條 少年審判官ハ隨時矯正院ヲ巡視スヘシ

第十條 在院者ニハ其ノ性格ヲ矯正スル爲嚴格ナル紀律ノ下ニ教養ヲ施シ其ノ生活ニ必要ナル實業ヲ練習セシム

第十一條 矯正院ノ長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ在院者ヲ懲戒スルコトヲ得

第十二條 矯正院ノ長ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ未成年ノ在院者及假退院者ノ爲親權者又ハ後見人ノ職務ニ屬スル行為ヲ爲スコトヲ得

第十三條 矯正院ノ長少年審判所ヨリ送致シタル在院者ニ對シ執行ノ目的ヲ達シクリト認ムルトキハ少

年第十四條 矯正院ノ長ハ少年審判所ヨリ送致シタル在院者ニシテ收容後六月ヲ經過シタルモノニ對シ少年審判所ノ許可ヲ受ケ條件ヲ指定シテ假ニ退院ヲ許ス

第十五條 假退院者指定ノ條件ニ違背シタルトキハ矯正院ノ長ハ少年審判所ノ許可ヲ受ケ假退院ヲ取消スコトヲ得

第十六條 在院者又ハ假退院者逃走シタルトキハ少年審判所及矯正院ノ職員ハ之ヲ逮捕スルコトヲ得

第十七條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外在院者ノ處遇ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ準用ス

矯正院ノ長ハ司法大臣ノ認可ヲ受ケ在院者ノ處遇ス

第十八條 前一條ノ規定ハ少年審判所、裁判所又ハ豫審判事ヨリ假ニ委託シタル者ニ付之ヲ準用ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
○議長(奥繁三郎君) 大木司法大臣

(國務大臣伯爵大木遠吉君) 諸君、唯今議題トナリマシタ所ノ少年法案、及矯正院法案ノ提案ノ理由ニ就テ一言説明ヲ致シマス、少年法案ニ於キマシテハ、刑罰法令ニ觸レル行爲ヲ爲シ、又ハ刑罰法令ニ觸ル、行爲ヲ爲ス虞アル所ノ十八歳未満ノ少年ニ對シテ、少年審判所ト云フモノノ保護ノ處分、並ニ少年ノ犯罪者ニ對シマル課刑、及刑事手續ニ就キマシテ、特別ナル規定ヲ設ケタモノニアリマス、次ニ矯正院法案ニ於キマシテハ、十二歳以上ノ少年ニシテ、性質不良、從來ノ現在ノ感化院ニ適セザル所ノ者ヲ收容セシム

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 諸君、唯今議題トナリマシタ所ノ少年法案、及矯正院法案ノ提案ノ理由ニ就テ一言説明ヲ致シマス、少年法案ニ於キマシテハ、刑罰法令ニ觸レル行爲ヲ爲シ、又ハ刑罰法令ニ觸ル、行爲ヲ爲ス虞アル所ノ十八歳未満ノ少年ニ對シテ、少年審判所ト云フモノノ保護ノ處分、並ニ少年ノ犯罪者ニ對シマル課刑、及刑事手續ニ就キマシテ、特別ナル規定ヲ設ケタモノニアリマス、次ニ矯正院法案ニ於キマシテハ、十二歳以上ノ少年ニシテ、性質不良、從來ノ現在ノ感化院ニ適セザル所ノ者ヲ收容セシム

○議長(奥繁三郎君) 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員会ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第一條 國ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ公共團體トノ契約ニ基キ收益ヲ分収スルノ條件ヲ以テ公有林野ニ造林ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依ル造林ニ係ル樹木ハ國ト公團體トノ共有トシ其ノ持分ハ收益分収ノ歩合ニ均シキモノトス

民法第二百五十六條ノ規定ハ前項ノ樹木ニ付之ヲ適用セス

第三條 國ハ第一條ノ規定ニ依リ造林ヲ爲ス公有林野ニ同條ノ契約ノ存續期間中地上權ヲ有ス

第四條 公共團體ハ第一條ノ規定ニ依リ造林ヲ爲ス公有林野又ハ第二條ノ規定ニ依リ持分ヲ處分スル場合ニ於テハ國ノ承認ヲ受クヘシ

第五條 第一條ノ規定ニ依リ造林ヲ爲ス公有林野ノ產物ニ關スル權利ニシテ國ニ屬スルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該公共團體ニ之ヲ讓與スルコトヲ得

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
(國務大臣山本達雄君登壇、拍手起立)

○國務大臣(山本達雄君) 唯今議題ニ上リマシタル公有林野官行造林法案ニ就テ説明致シマス、公有林野ノ造林ニ就キマシテハ、是マデ相當ナル獎勵ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、ソレニモ拘リマセズ、尙ホ造林シ得ベキ面積ガ百万町歩餘モアルノデゴザイマス、而シテ此大ナル面積ニ就キマシテハ、此シテ從前ノ如ク公共團體ノミニ依託シテ置キマシテハ、此造林ノ目的ヲ達スルコトガ甚ダ難イノデアリマス、故ニ今度ハ國家ニ於テ此造林ノ事業ヲ爲シテ、サウシテ其收益ハ公共團體ト分収スル法案ニアリマス、斯ウ致シマシテ、國土ノ保安、或ハ又將來ニ於テ木材ノ供給、斯ノ如キモノヲ豊富ニシタイト云フ精神デゴザイマス、此案ハ前議會ニ於キマテ、既ニ本院デ可決サレタル問題ニアリマス、此度ニ於キマシテモ、ドウカ御協賛アランコトヲ希望致シマス(拍手)付託スヘキ委員ノ選舉ヲ行ヒマス

## 第二十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勤君 本案ノ委員ノ數ハ特ニ十八名トシ、議長ニ於テ指名アランコトヲ望ミマス  
(「贊成人々」下呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(與繁三郎君) 御異議ガナイト認メマス、仍テ岩崎君ノ動議ノ如ク決シマス、日程第二十七帝國鐵道電力株式會社法案第一讀會

## 第二十七 帝國鐵道電力株式會社法案(政)

府提出)

帝國鐵道電力株式會社法案

帝國鐵道電力株式會社

帝國鐵道電力株式會社ハ國有鐵道ニ電力ヲ供給スル事業ヲ營ムヲ以テ目的トス但シ其ノ電力ニ

餘裕アル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受ケ他ノ鐵道、軌道其ノ他ノ事業ニ電力ヲ供給スルコトヲ得

會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ附帶業務ヲ營ムコトヲ得

第二條 會社ノ本店ハ之ヲ東京市ニ置ク

第三條 會社ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ百年トス

第四條 會社ノ資本ハ一億圓トシ内五千萬圓ハ政府ノ出資トス

會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得

第五條 株金ノ第一回拂込ノ金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得

第六條 政府ハ帝國鐵道特別會計ニ屬スル電力設備、土地其ノ他ノ財産ヲ以テ株金ノ拂込ノ一部ニ充ツルコトヲ得

第七條 政府カ帝國鐵道特別會計ヨリ會社ニ出資シタル場合ニ於テ該出資ニ因リ取得シタル株式ハ之ヲ同會計所屬財產トス

第八條 政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國ノ法令ニ依リ設立シタル法人ニ非サレハ會社ノ株主ト爲ルコトヲ得ス

第九條 會社ノ株券ハ記名式トス

第十條 會社ノ取締役ハ百株以上ヲ有スル株主中ヨリ政府之ヲ命シ其ノ任期ハ五年トス

第十一條 會社ノ取締役ハ前項ノ取締役中ヨリ政府之ヲ指定ス

監查役ノ任期ハ三年トス

第十二條 會社ノ取締役ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ他

ノ職務又ハ營業ニ從事スルコトヲ得ス

第十三條 定款ノ變更ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ利益ハ其ノ効力ヲ生セス

第十四條 會社ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ利益

金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス  
第十五條 會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ヘキ利益カ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過セサルトキハ政府所有ノ株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セス

配當シ得ヘキ利益カ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ其ノ超過額ヲ配當スルトキハ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ニ達スル迄政府所有ノ株式及政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ二トノ割合ヲ以テスヘシ政府所有ノ株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合ハ八年一割ヲ超過スルコトヲ得ス

過スル場合ニ於テハ總株式ノ拂込金額ニ對シ均一ノ割合ヲ以テ其ノ超過額ヲ配當ス

當割合ハ八年一割ヲ超過スルコトヲ得ス

總株式ノ拂込金額ニ對スル配當割合カ年一割ヲ超過スル場合ニ於テハ總株式ノ拂込金額ニ對シ均一ノ割合ヲ以テ其ノ超過額ヲ配當ス

過スル場合ニ於テハ總株式ノ拂込金額ニ對シ均一ノ割合ヲ以テ其ノ超過額ヲ配當ス

利益カ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年五分ノ割合ニ達セサルトキハ設立登記ノ日ヨト五年ヲ限リ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シ年五分ノ割合ニ達スル迄利益ヲ配當スルコトヲ得

第十七條 會社ハ電力供給ノ料金ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條 政府ハ會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル事項ヲ會社ニ命スルコトヲ得

第十九條 政府ハ帝國鐵道電力株式會社監理官ヲ置キ會社ノ業務ヲ監視セシム

監理官ハ何時ニテモ會社ノ金櫃、帳簿、文書其ノ他ノ物件ヲ検査シ役員又ハ使用人ニ説明ヲ求ムルコトヲ得

監理官ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ會社ニ命シ營業上ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

監理官ハ株主總會其ノ他ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十條 會社ノ決議又ハ役員ノ行為ニシテ法令、法

令ニ基キテ爲ス命令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルモノアリト認ムルトキハ政府ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職スルコトヲ得

第二十一條 政府ハ設立委員ヲ命シ帝國鐵道電力株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第二十二條 設立委員ハ定款ヲ作り政府ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條 設立委員ハ前條ノ認可ヲ受ケタルトキハ、會社ノ株式總数ヨリ政府ノ引受クヘキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スヘシ  
商法第百一十六條乃至第百三十條ノ規定ハ前項ノ募集ニ付之ヲ準用ス

株式申込證ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一定款認可ノ年月日

二 商法第百二十條第一號乃至第四號及第七號

三 本店ノ所在地

四 存立期間

五 第一回拂込ノ金額

六 設立費用

二十四條 前條ノ規定ニ依リ募集シタル各株式ニ付第一回拂込アリタルトキハ設立委員ハ遅滞ナク創立總會ヲ招集スヘシ

商法第百三十二條第百四十一條第一項、第百五十六條第一項第二項、第百六十二條乃至第百六十三條ノ四ノ規定ハ前項ノ創立總會ニ之ヲ準用ス

二十五條 創立總會ニ於テハ創立ニ關スル事項ヲ

六條第一項第二項、第百六十二條乃至第百六十三條ノ四ノ規定ハ前項ノ創立總會ニ之ヲ準用ス

二十六條 設立委員ハ會社成立シタルトキハ直ニ其ノ事務ヲ帝國鐵道電力株式會社取締役ニ引渡スヘシ

（國務大臣元田肇君）帝國鐵道電力株式會社法案

○國務大臣（元田肇君）帝國鐵道電力株式會社法案ノ提出ノ理由ヲ陳述致シマス、諸君御承知ノ通リニ、今日マデノ我帝國內ニ於ケル鐵道ハ、蒸氣力ニ其動力ヲ求メテ居ツタノデアリマス、僅カノ部分ハ電力ニモ依テ居ル所モアリマスケレドモ是ハ殆ド言フニ足ラヌノデアリマス、然ルニア米利加ノ近況、歐羅巴ノ中デモ、白耳義、瑞西ノ如キハ、殆ド電力ヲ以テ鐵道ノ動力ニシテシマウト云フヤウナ領ニナツテ居リマス、政府ニ於キマシテモ、是マデ段々調査研究ヲ致シタノデアリマスルガ今日マデノ蒸氣力ニ依テ致シマスレバ、一二原料ヲ石炭ニ取ルノデアリマシテ、帝國ノ石炭ハ今日本ノ所ハ豊富アリマスケレドモ、是ヨリ諸般ノ工業が起り鐵道ガ延長致スト云フ曉ニナリマシタナラバ、洵ニ杞憂スベキ前途ヲ有シテ居ルモト存ジマス、若シ之ニ代フルニ適當ナル動力ガアッタナラバ、洵ニ好都合アアルトス様ナ論結ヲ生ジテ居ル場合ニ、帝國ニハ隨分水力ガ澤山アリマシテ、電力ヲ以テ其蒸汽力ニ代フルト云フコトニ致シマシタナラ

バ輸送ノ上ニ於テモ、多大ナル速力ヲ加ヘマスルシ、又衛生ト申シマセウカ、隧道ナドヲ通りマス時ノ場合ニハ、蒸汽デハ洵ニ耐ヘ難キ所ノ狀況ニ在ルノデアリマシテ、彼此綜合致シマシテ、政府ハ電力ニ依テ鐵道ノ運轉ヲスルコトニ致シタノト存ジ、其第一著手ト致シマシテ、先ソ東京ヲ中心トシテ此附近ノ動力ヲ電力ニ變ヘヤウト云フ計畫ヲ立

テマシテ、即チ今回提出致シマシタノガ此法案ニアリマス、詳シク申上げマスレバ、法案全體ニ亘テ説明モ致シマスケ

レドモ、斯ノ如キハ委員會ニ於テ、詳細ニ私並ニ是マデ調査

完結ヲ致シマシタ所ノ、政府委員ヨリ申上ゲルコトニ致シ

タイノデアリマス、此會社ヲ設ケルニ就キマシテ、第一ニハ官

設ニシテハドウカト云フコトモ考ヘテ見タノデアリマスカ、今

日建設改良ニ多大ノ費用ヲ要スル場合ニ、大ナル資本ヲ

電力ノミニ注込ムト云フコトハ不可能デアル、又不可能デ

ナイト致シマシテモ、甚ダ難事アリマス、然ラバ民間ノ會

社ニ供給ヲ求メルコトニナルト致シマスレバ、是亦甚ダ満足

ノ結果ヲ得ルコトガドウモ疑ハシイノデアリマシテ、不完

全ノ結果停電等ヲ致シテハ、甚シキ差支ヲ生ズルコトニアリマス、是ニ於テ官民合同ノ會社ヲ造リマシテ、鐵道省ノ方ニ於キマシテハ、此動力ヲ或ル制限ノ價格ノ代價ヲ以テ供給ヲシテ貰ハベ、是ニ足ルノデアリマシテ、必シモ此會社ニ依テ利益ヲ營マウト云フノデハアリマセズ、左様致シマシテ其動力ニ依リマシテ、輸送力ヲ増シ、諸般ノ改良ヲ施シテ行クト云フコトニナレハ足ルノアリマス、ソレデ民間ヨリ加ハル所ノ出資者ニ對シテハ、或程度マデハ配當ガ出來ナシレバ、之ヲ保護スル所ノ法ヲ立て又或程度ヲ超エテノ配當ガアリマスルナラバ、政府ト民間ノ配當ニゾレーワー區分ノ規律案ヲ提出シタ次第アリマス、幸ニ此法案ガ通過ヲ致シマスレバ、成ルベク公平ニ其道ノ人ヲ擧グマシテ創立委員ト致シマシテ、適當ナル會社ノ組織ヲ致シマシテ、以上申上げマシタ所ノ目的ヲ達シ、併セテ此會社ノ餘力ヲ以テ、他ノ鐵道等ニモ供給スルコトニ致シタノト下呼フ者多シ

○議長（奥繁三郎君）異議ナシ下呼フ者多シ

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレシコトヲ望ミマス

○議長（奥繁三郎君）岩崎君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

○議長（奥繁三郎君）岩崎君ノ動議ニ異議ナシ下呼フ者多シ

○議長（奥繁三郎君）異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十九、大正八年法律第五號中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長——報告、根本正君

第二十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 議長

○議長（奥繁三郎君）岩崎勳君

○議長（奥繁三郎君）岩崎君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

○議長（奥繁三郎君）異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十九、大正八年法律第五號中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長——報告、根本正君

第二十九 大正八年法律第五號中改正法律案（根本正君登壇、拍手起ル）

第一讀會ノ續（報告）（確定議）

（根本正君登壇、拍手起ル）

○根本正君 諸君、大正八年法律第五號中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、大正八年法律第五號

ハ、第一回國勢調査事業ノ爲メ、市區町村ニ於テ要スル經費ニ充ツル金デアリマス、此金額ハ百五十五万五千四百八十八圓ヲ交付スルコトニ、法律ニ於テ決シテ居リマシタガ、其後物價騰貴ノ結果、此交付金額ノ四割ヲ增加致シマシテ、二百十七万七千六百八十三圓ト改メル法律案アリマスル、

此案ニ就キマシテ政府委員モ出席サレマシテ、十分ニ意見モ述べラレ、又委員ノ中ヨリモソレード審査ヲ重ねマシタ

ビ法律案トナシテ出マシタ譯アリマスル、此國勢調査ナルモノハ、我が日本國ニ於キマシテ、初メテノ事業デ、此第一回

ノ國勢調査ト云フモノハ、十月ノ一日ニ於キマシテスルノデ、最早切迫致シテ居ル問題アリマスル、此調査ニ依テ我が

日本帝國ノ人口ヲ正確ニ取調ベ、ソレヨリ追々種々ノ調査ニ掛ル所ノ、是ハ最モ文明的ノ、一ツノ大事業アリマスル、

○議長（奥繁三郎君）許スコトニ致シマス  
○富田保太郎君 ソレデハ第四分科ノ委員諸君ハ、第九委員室ニ御集リヲ願ヒマス  
○議長（奥繁三郎君）高木君ハ質疑ヲ抛棄セラレマシタ、

日程第二十八右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

之ニ要スル調査委員ト云フモノハ、日本全國ヲ通シテ三十万人ノ多キニ達シテ居リマス、尙ホ此調査委員トナルベキ者ハ、或ハ貴族院ノ議員ノ中ニモ、衆議院議員ノ中ニモアルト云フコトデアリマスル、是ガ調査ヲ結了シマス時ニ至リマシタナラバ、我が日本國ノ所謂國力發展ニ就キマシテ、坐ナガラ國勢ヲ知ルコトニナルト云フ譯アリマスル、故ニ之ニ對シマシテハ、此調査委員ナドニ對シマシテモ、内閣ヨリ此辭令ガ渡リ、又微章ノ如キモノモ區別ナク、所謂總裁ニ於テモ、亦之ヲ調査スル所ノ市町村ノ人ノ爲メニモ、同シヤウナ微章ガ渡ルト云フコトデアリマスル、此度ノ此金額ノ増加ト云フモノハ、即チ市町村ニ交付シテ、サウシテ其人ニ或ハ辨當料ナドニモ供給スルコトニナシテ居リマス、故ニ此案ハ満場一致ヲ以テ御賛成アランコトヲ望ミマス。

○岩崎動君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス  
〔拍手起り「贊成」贊成「ト呼フ者アリ」〕  
○議長（奥繁三郎君） 岩崎君ノ動議ニ異議アリマセバ  
カ〔「異議ナシ」「異議ナシト呼フ者アリ」〕

○議長（奥繁三郎君） 異議ナイト認メマス、仍テ讀會ヲ省略シ、委員長報告通り可決ニナリマシタ——次ニ決議案ヲ議題ト致シマスガ、討論ノ通告モ數名アリマスカラ、此場合三十分休憩致シマス  
午後二時五十一分休憩

## 午後三時二十八分開議

○議長（奥繁三郎君） 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ、御届出アランコトヲ望ミマス、日程第三十決議案ヲ議題ト致シマス  
〔拍手起立〕

○議長（奥繁三郎君） 御異議ナシト認メマス、第五部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ、御届出アランコトヲ望ミマス、日程第三十決議案ヲ議題ト致シマス  
〔拍手起立〕

## 第三十 決議案（中野正剛君提出）

## 決議案

尼港問題ノ真相ヲ明白ニシ延テ外交及軍事ヲ審査スル爲特別委員會ヲ設置スヘシ  
○議長（奥繁三郎君） 提出者ノ説明ヲ求メマス、中野正剛君——登壇〔……〕  
〔拍手起立〕

○中野正剛君 本員ノ提出致シマシタル決議案ハ、問題

ノ性質上國務大臣ノ出席ヲ煩シタイ、特ニ總理大臣、陸海軍大臣、外務大臣ダケハ是非共出席ヲ煩シタ上デ、本員ノ提出シタ問題ヲ説明致シタイト思ヒマス、昨日カラ此希望ヲ申出デ置キマシタ

〔質問デハナイヨ〕「ト呼フ者アリ」

○議長（奥繁三郎君） 今ニ出席ニナルカ判リマセヌガ、提出来理由ダク御述ベニナツラドウデスカ

〔質問デナイカラ述ベタラドウダ〕「ト呼フ者アリ」

○中野正剛君 質問デハアリマセヌガ、議案ノ性質上國務大臣ノ出席ヲ願ヒタイノデス  
〔マアヤリ給ヘ〕「ト呼フ者アリ」

〔中野正剛君登壇、拍手起立〕

ナクト云フコトハ一部分陸軍ノ怠慢ヲ自ラ認メラレテ居ルト私ハ解釋スルノデアリマス、私ハ「ソノナ意味デナイ文書ヲ讀ムコトヲ知ラヌカ」ト呼フ者アリ、總理大臣、陸軍大臣トモアル人ガ、斯ノ如キ非常ナ際ニ、平常以上ニ痛烈ナル言フ列ネラレタノヲ見テ、非常ナ御決心ガアルニ拘ラズ、人心ハ却テ不安デアルノデアリマス

〔大ニ然ラズ「大ニ然リ」、彦太郎默テ居レ〕政友會靜肅ニト呼ヒ、其他發言者多シ

○議長（奥繁三郎君） 靜肅ニト呼ヒマス  
〔中野正剛君（續）〕 古來言語壯烈ニシテ内容ノ貧弱ナリ——言語ヲ壯烈ニシテ行ヲ貧弱ニスルコトハ、亡國ノ前兆デアル〔ノウ〕ト呼フ者アリ、非常ナ言ヲ爲シタル人ハ、非常ナ決心ヲ以テ、單ニ一黨一派ノ問題デナク、眞面目ニ時局ニ對シテ考ヘル必要ガアルト考ヘルノデアリマス、〔ヒヤ〕ト呼フ者アリ、西伯利外交、西伯利政策ノ最後ノ幕デハナクシテ、聽テ我ガ帝國ヲ來ルベキニ流レッ、アタヒ帝國上下ノ人心ニ、冷水三斗ヲ浴セ掛けタモノト思ヒマス〔ヒヤ〕ト呼フ者アリ、今ヤ我ガ同胞六千万民ノ胸ハ、悲痛ノ情ト憤激ノ念トニ満チテ居ルノデアリマス〔然リ〕ト呼フ者アリ、此際憤激ト悲痛トハ、人ヲシテ眞面目ナラシメルモノデアルト信ジマス〔然リ〕ト呼フ者アリ、何處カラ唱ヘラレマシタカ知レマセヌガ、有力者ノ言葉ニ禍ヲ轉ジテ禍ト爲スト云フ言葉ガアル當局者諸君ノ中ニモ、此種ノ言ヲ爲サレタ方ガアルト思ヒマスガ、此際禍ヲ轉ジテ禍ト爲スモノアリトセバ、ソレハ當局者諸君、別シテ與黨諸君ガ冷カニ時局ヲ觀察セラレテ、此眞面目ナラントスル人ハ眞ニ指導セラレルコトガ、唯一ノ方便デアルト私ハ信ズルノデアリマス〔拍手〕人心ヲ眞面目ニシ、而シテ動員セラレタル新タル人心ノ上ニ眞面目ナル方策ヲ講ズルコトガ、今日ノ急務デアル、貴衆兩院ハ既ニ有志者ノ追弔會ヲ開キマシテ、原總理大臣モ、非常ニ悲痛ナル弔辭ヲ述べラレテ居ルノデアリマス、其中ニ〔讀マナクテモ判テ居ル〕ト呼フ者アリ、帝國政府ノ斷シテ黙認寃怨スルコト能ハザル所余ハ職責上は等犠牲者ノ諸靈ヲ慰メ國威ヲ維持スルニ於テ萬違算ナキフ期スト言ウテ居ラレルノデアリマス〔其通り〕ト呼フ者アリ、更ニ田中陸軍大臣ハ水戸ニ於ケル追弔會ニ於テ、大臣トシテハ寧ロ過激ナル慷慨ノ辭ヲ列ナレテ居ル、天日ヲ輝サンバ忠魂何レニ依テカ慰ムベキ義一負託ノ重任ヲ念ヒテ恐懼已ムナク不敏ト雖モ私二期スル所アリ、斯ウ言ウテ居ラレルノデアリマス恐懼已ム來ル所非常ニ遠ク、御希望ナラバ大隈内閣當時ニ遡リ、對支二十一箇條ノ外交ニ至ルマデ、其内幕ニハ

諸君が経験セラレタト同様ナ面倒ナ事情ガアシ、之ヲ糺  
弾セラル、モ諸君ノ勝手デアル、静ニ御静聴ヲ願シテ、此問  
題ガ單ニ一内閣ノ問題ニアイト云フコトヲ、御諒解ヲ願ヒタ  
イニアリマス、憲政會諸君ニ申上ダマスガ、此案ハ彈劾案ハ  
ナイ、彈劾案デハナイガ、諸君ガ別ニ内治外交ノ失敗ヲ算ヘラ  
レテ、現政府ヲ彈劾セラル、毛頭矛盾スルモノハナイ  
ノデアリマス、私ハ彈劾案ノハ贊成者デアリマスガ、本案ト彈劾  
案トハ自ラ別個ノモノデアシテ、此點ヲ御考フ、願ヒタイン  
デアリマス、又憲政會例ハ、内閣ガ倒レテ以後、隨分過去ノ  
兵敗ニ就テ攻撃ヲ受ケテ居ラル、前内閣ノ失政ヲ糺弾スル  
コトハ、此頃ノ習慣ニナシテ居ル、斯ノ如キ習慣ノ下ニ在ル場  
合ニ於テ、憲政會諸君ハ無告ノ窮地ニ置カシテ居ル、告グ  
ベカラザル苦心ニ下ニ置カレテ居ル、カルガ故ニ當時ノ事情  
ヲ明白ニシテ、今日ノ事情ニ及ボスコトガ諸君ノ爲メニ有  
利ト思フノデアリマス、「極メテ拙劣」ト呼フ者アリ、私ハ此  
際ニ田中陸軍大臣、内田外務大臣ニ特ニ御注意ヲ願テ  
其權能ヲ議院ノ外ニ發動スルコトガ出來ナイ誠ガアルノデ  
アリマス、併ナガラ總理大臣首メ問題ノ性質ノ非常ナルヲ  
御諒解ニナシテ、非常ノ言ヲ放タレテ居ル以上、現存スル法  
規ノ中ニ於テモ、此精神ヲ徹底セシメヤウト努力シテ戴ケバ  
隨分一（何ヲ喋々言フ）「好イ加減ニシロ」ト呼フ者アリ  
合法ニ満足ナル結果ヲ得ルコトガ出来ルト思フノデアリマ  
ス、其七十四條ニハ委員會ノ要求ニ依テハ、祕密ニ涉ラザ  
ル文書ヲ出スコトガ出來ルト云フコトニナシテ居リマス、此祕  
密ニ涉ラザルト云フノモ解釋ノ仕方デアリマシテ、問題ガ非  
常ナルヲ諒解セラレタル以上ハ、祕密ナルモノハ範圍ヲ極小  
ニシテ、有ユル——私ノ次ニ要求スルガ如キ文書ヲ委員會ニ  
公開セラレントコトヲ希望スルノデアリマス（マダ成立シテ居  
ナイチヤナイカ）何ヲ調査スルカラ言ヘバ、宜イノダ」ト呼フ者  
アリ、追々申上ケマス（早ク言ヘ）「丸山君靜ニシロ」ト呼フ  
者アリ、參謀本部ニ於テ始終用井ラレテ居ル、俗ニ參牒ト  
云フモノガアリマス、即チ參謀本部牒報ヲ或ル部類ニ限テ屢々、  
御元シナガルト云フモノガアリマス、此參謀本部牒報ハ祕密  
デアルト云フテ、全體ニハ外ニ發表セラレナガ、近頃色ニヲ  
利用セラレナガ、近頃色ニヲ利用セラレ、參謀本部ニ不  
利ナ者ニハ御元シナラナイガ、不利ナラザル、利用シ得ベキ  
者ニハ、參謀本部牒報ヲ或ル部類ニ限テ屢々、御元シナ  
ル、本員ノ如キモ間接ニ參牒ヲ見タコトガ屢々アル、此參謀  
本部牒報ナルモノガ、有ユル政治ノ「プロパガンダ」ノ種ニ利  
用サレテ居ルト云フコトハ、顯著ナル事實デアルノデアリ  
ス、祕密申シナガラ「プロパガンダ」ノ爲メニ責任ナキ議員

以外ノ運動者ニ之ヲ示ス以上、議會ノ委員會ニ之ヲ提供セ  
ラレルコトハ、最モ私ハ正當ニ吾、ガ要求シ得ル事デアルト  
思フノデアリマス、（ヒヤー）ト呼フ者アリ更ニ參謀本部  
ニハ同一ノ性質ニ於テ月ニ一回位井出サレル參謀本部特  
報ト云フモノガアル、又一年ニ一遍位井「海外將校ノ近況」  
ト稱スルモノガアリマス、此等ハ皆ナ刷物ニナシテ或ハ外交調  
査會——全部デナイ、外交調査會内ニ於テ陸軍ノ爲メニ利  
用シ得ベキ人ニ御見セニナリマス、此種類ノ書類ヲ殘ナク  
伯利出兵以後——尼港慘劇ニ至ル間參謀本部ガ果シテ  
政治ニ携ハシテ居タカ、居ナカタカ、政治ニ携ハルト申スモ、  
戰爭中ニハ統帥權ノ發動、帷幄上奏權ガアルガ、此度ノ西  
伯利ノ狀態ハ未だ宣戰ヲ希望セルニ非ラスシテ、大本營モ  
出來テ居ラナイノニ、統帥權、帷幄上奏權ヲ自由ニ用キテ  
カッカ、參謀本部ト雖モ無告ノ窮地ニ置クコトヲ欲シナイ  
ダ故ニ、明白ニ材料ヲ出シテ、陸軍全體ノ責任ヲ負フベキ  
田中陸軍大臣ガ、本委員會ノ設置ニ賛成セラレ、贊成セラ  
レルト共ニ、是等ノ材料ヲ本委員會ニ提供スルト云フ約束  
ヲセラル、コトヲ希望致スノデアリマス、更ニ外務省ニモ同  
一ノモノガアリマス、澤山申上ケズトモ青刷ト稱スル、外務  
省ノ邊外使臣ヨリ來ル電報ノ綴リガアル、是カ參謀本部ニ來  
ル情報トコンガラカ、始終我國ノ外政ノ不統一ヲ來ス  
ノ他ノ力トナシテ居ルノデアリマス、之ヲ委員會ニ提供セラル  
ルコトヲ必要ナリト信シマス、私靜ニ世間ノ狀態ヲ見マスル  
ノニ、世ノ中ニハ軍閥外交ノ攻擊ガアル、併ナガラ所謂軍閥  
ニ言ハスレバ、外務省ハ無方針、外務省ノ唱フル所ハ殆ド  
敗北主義ニ貫シテ居ル、牧野使節ガ巴里ニ出發サル、  
時、根本精神ハ何所ニ在タカ、世界ノ大勢ニ見テ國際的  
潮流ニ掉シテ、帝國ノ利權ヲ述ベントスルニ非ズシテ、大勢  
ニ順應シテ外國ニ褒メラレルコトガ唯一ノ目的デアッ、斯  
ノ如ク持タル權利ハ悉ク曝ケ出スト云フ、外國ニ向テハ、  
盡ク讓歩スルト云フ意氣地ナキ外務省ガ存スルトキ、一方  
參謀本部ガ蒐蒐得タル材料ヲ以テ、無能ナル内閣及外務  
省ノ下ニ（何ヲ言フ）「言フコトガ分ラヌト云フ人ガ澤山ア  
リマスヨ」ト呼フ者アリ、隱忍スルコトガ出來ズ、段々動キ出  
スヤウニナルハ、參謀本部ノ聰明不聰用ハ別シニ、軍人  
方ニハ私ハ氣ノ毒ナ點カアルト思フノデアリマス（御苦勞  
「分ラナイト云フ人ガ多イヨ」ト呼フ者アリ）此點ヲ明白ニ  
致シタイ、參謀本部軍閥外交ト言ハレマスガ、一面ニ於テ  
軍隊ヲ西伯利ニ出シ、又支那其他ニ陸軍ノ頭脳アリト信  
ゼラレル人ヲ配置シ、特別ノ費用ヲ使ラ網ヲ張シテ居ラレ  
ル以上ハ、其處ノ人々活動シ出スハ當然デアル、此人等ガ主

トシテ所謂侵略主義ノ前提トナルノモ自然ノ勢デアル、併ナ  
ガラ軍人ガ敗北主義、平和主義ノ者ハ先ツ珍シ、軍人トシ  
テハ、攻勢的ニ、積極的ニ有ユル機會ヲ捉ヘテ進マウト云フ人  
ガ多イノハ已ムヲ得ナイト、私ハ其等ノ人ニ二對シテ氣ノ毒ニ  
思ヒマス、唯タ之ヲ内國ノ一定ノ方針ノ下ニ、此内閣ノ方  
針ノ下ニ、其敵愾心ヲ活用スルコトガ出來ナイ状態ニ在ル  
ヲ遺憾トスルノデアリマス、ソコデ此委員會ヲ設ケ、對露外  
交、邀シテ對露外交ニ關聯スル對支外交中ノ軍事協約、其  
時ヨリコンガラカシテ來テ居ル軍閥ト外務ノ外交、此外  
更ニ纏綿セル外交調査會内閣ノ遣口ヲ紀明スルコトガ、此  
會ノ欲スル要領デアリマス、私ノ提唱スル委員會ハ之ヲ明  
白ニシ、根本的ニ軍ノ統帥權ガ如何ニ用キラレテ居ルカ、是  
ガ政治ト齟齬メルコトアリヤ否ヤ、現存スル法規ガ問題ノ  
紛糾ヲ來ス源泉ニナシテ居ルナラバ、此大權ニ屬スル法規ノ  
改正ハ、吾ミガ要求スルコトハ出來ナイガ、運用ニ至ルテハ之  
ヲ調べ、其運用ノ宜シキヲ制スル如ク能ク考慮シ、徐ニ今後  
ノ方針ヲ決定スル必要ガアルト思ヒマス、法ハ永世不變ノモ  
ノデナイ、社會ハ進歩スル、此發達進歩スル社會ヲ舊法ニ  
依テ束縛セントスルコトハ不可能デアル、故ニ舊法ハ形式  
的ニ之ヲ改メガルマデモ、法規ノ運用ヲシテ其宜シキヲ得セ  
シムルコトハ、最モ必要デアルト信ジマス、私ノ此點ニ於テ根  
本ノ法規ヲ改正スルコトハ出來ズトキ、此運用ヲ如ニス  
ベキカラ研究シ、而シテ外政ヲ統一スル爲メニ、審査委員會  
ヲ設置セシムコトヲ希望スルモノデアリマス、（拍手）ソコデ諸  
君ハ對西伯利外交ノ經緯ニ對シテ、私ガ言論ヲ列ベレバ、  
證據ガ無イト言ハレルデアリマセウソレ故ニ私ハ出兵以來  
我帝國ノ外政ト、又軍事行動トノ矛盾錯雜混亂ヲ極メタ  
ル状態ノ一斑ヲ茲ニ實例ヲ舉ゲテ披瀝シ、篤ト御反省ヲ求  
メタイノデアリマス、我國ハ大正七年七月始メテ「チエック、ス  
ローヴ・アック」ノ兵ヲ救助スルヲ名トシテ、亞米利加トノ協調  
ノ下ニ兵ヲ出シシタノデアリマス、此ノ「チエック、スローヴ・アック」  
援助ノ出兵ト云フ問題ニ對シテハ、多クノ非難セラレル方  
ガアルヤウデアリマスガ、「チエック、スローヴ・アック」ノ援助ト云  
フコトガ、既ニ帝國ノ本意デアタカナオタカ、併ナガラ實  
ニ名狀スベカラザル混亂ヲ來シタコトヲ私ガ指摘致シマス、  
日本ハ七月出兵ノ際ニ明ニ發表致シテ居リマス、政府ノ發  
表ニ依ルト、此出兵問題ハ七月起リシニ非ズシテ、七月以  
前三月ニ英佛ヨリ日本ニ出兵ノ勸誘ガアッタ、併ナガラ米  
國ノ賛同ヲ得ルコト能ハズ、日米ノ協調ヲ得ル能ハズシテ  
今日マデ遷延シテ居タガ、今日「チエック、スローヴ・アック」ノ  
兵ヲ援助スルヲ名トシテ、亞米利加ヨリ協調出兵ヲ申込  
ダル以上ハ、兵ヲ出スト言シテ居リマス、此文句ヲ表面ダケ

見レバ、至テ罪ノナイモノアリマスか、此出兵其モノカ實ニ妙ナモノニナシテ居ル、當時ノ責任者ハ寺内總理大臣、田中參謀次長、本野外務大臣アリマスガ、寺内伯及本野外務大臣ハ既ニ地下ノ人アリマス、アリマスガ故ニ、其際中外ノ齊シク認メル所デアラ、屢々英佛ニ向テ出兵ノ「サウンド」ヲシテ搜リテ入レタコトモ顯著ナル事實アリマス、英佛ニ對シテ其方カラ出兵ノ要求ヲスレバ、出スゾト云フ態度デ、或ハ「サウンド」シ、或ハ大使館ノ役人ヲ通ジテ、向フニ意思ヲ通ジタコトハ屢々アリマシタ、然ルニ三月ニ至ルマデ英佛ハ決シテ日本ニ出兵ヲ要求シテ來ナカッタノハ、大ニ先方ガ日本ノ國情ヲ諒解シテ居タカラデアリマス、其裏面ニハ如何ナル事ガアリマシタカ、憲政會ヲ率井テ居ラレル領袖ノ或一人ニシテ、名前ハ申シマセガ、外交ニ堪能ナル人アリマス、其人ノ所ニ英國ノ「エドワードグレー」カラ、日本ハ果シテ出兵が出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ、個人的ニ尋ねテリデハ頗リニ日本ノ出兵ヲ要求スル議論ガアリ、外相「ビション」ノ出兵論ハ隨分露骨ニ發表サレタニ拘ラズ、英國ハ尙ホ自重シテ、日本ニ迷惑ヲ掛ケマヤウニ出兵ノ勸誘ハシナカタノデアリマス、ソレガ三月ニ突如トシテ勸誘ヲシテ來タノハドウニ云フ譯デアルカ、日本ノ政府ハ、當時陸軍ト共ニ國論ヲ開拓シテ出兵ヲ煽る手段ヲ盡シテ居タ、而モ人民ハ無智ナリト或人ニハ申シマスカ、六千万ノ輿論ハ堅實デアラテ、如何ナル陸軍ノ「プロバカンダ」ガアッテモ、出兵ヲ肯ジナカタノデアリマス、「ノウー」ト呼フ者アリ、御黙リナサイ、（默ランイ）ト呼フ者アリ）我陸軍大臣及總理大臣ハ、一國ノ總理大臣トシテミアタカ——陸軍ノ總理大臣トシテ、アタカ明白デナイ——本野外相ヲ說付ケ、遂ニ同意ヲ得ラレタモノト見エル、併シ此問題ハ最初外交調査會ニハ諒解ヲ求メラレナカタ、此席ニ調查委員が御出ニナルカラ、明ニ分テ居リマセウ、併シ裏面カラハ運動ガアタカモ知レナイ、英佛ニ向テ出兵ニ就テ「サウンド」セラレタコトハ、是ハ明白ナル事實デアリマス、佛蘭西ニ居タ日本ノ軍人、在外ノ我國ノ外交官等ハ皆ナ之ヲ認メテ居リマス、日本ガ兵ヲ出スカラドウカ君ノ方カラ要求シテ吳レヨト云フ意味ノ要求ガ

英佛ニ對シ内密ニ行ハレタノアリマス、殊ニ陸軍ノ在外「ツツタツセ」等ハ「サウンド」ヲ通り過ぎ、今要求ヲスレバ日本ノ兵ヲ出スト云フヤウナコトヲ、外國ニ向テ公言シタノデ謀本部陸軍省ヲ中心トシテ、出兵ニ最モ熱心デアタコトハ思フ、通ジタコトハ屢々アリマシタ、現陸軍大臣ニ御清聴ヲ煩シテ、私ハ當時ノ狀態ヲ申上ゲマスル、我寺内閣が參謀本部陸軍省ヲ中心トシテ、出兵ニ最モ熱心デアタコトハ、其際中外ノ齊シク認メル所デアラ、屢々英佛ニ向テ出兵ノ「サウンド」ヲシテ搜リテ入レタコトモ顯著ナル事實アリマス、英佛ニ對シテ其方カラ出兵ノ要求ヲスレバ、出スゾト云フ態度デ、或ハ「サウンド」シ、或ハ大使館ノ役人ヲ通ジテ、向フニ意思ヲ通ジタコトハ屢々アリマシタ、然ルニ三月ニ至ルマデ英佛ハ決シテ日本ニ出兵ヲ要求シテ來ナカッタノハ、大ニ先方ガ日本ノ國情ヲ諒解シテ居タカラデアリマス、其裏面ニハ如何ナル事ガアリマシタカ、憲政會ヲ率井テ居ラレル領袖ノ或一人ニシテ、名前ハ申シマセガ、外交ニ堪能ナル人アリマス、其人ノ所ニ英國ノ「エドワードグレー」カラ、日本ハ果シテ出兵が出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ、個人的ニ尋ねテリデハ頗リニ日本ノ出兵ヲ要求スル議論ガアリ、外相「ビション」ノ出兵論ハ隨分露骨ニ發表サレタニ拘ラズ、英國ハ尙ホ自重シテ、日本ニ迷惑ヲ掛ケマヤウニ出兵ノ勸誘ハシナカタノデアリマス、ソレガ三月ニ突如トシテ勸誘ヲシテ來タノハドウニ云フ譯デアルカ、日本ノ政府ハ、當時陸軍ト共ニ國論ヲ開拓シテ出兵ヲ煽る手段ヲ盡シテ居タ、而モ人民ハ無智ナリト或人ニハ申シマスカ、六千万ノ輿論ハ堅實デアラテ、如何ナル陸軍ノ「プロバカンダ」ガアッテモ、出兵ヲ肯ジナカタノデアリマス、「ノウー」ト呼フ者アリ）我陸軍大臣及總理大臣ハ、一國ノ總理大臣トシテミアタカ——陸軍ノ總理大臣トシテ、アタカ明白デナイ——本野外相ヲ說付ケ、遂ニ同意ヲ得ラレタモノト見エル、併シ此問題ハ最初外交調査會ニハ諒解ヲ求メラレナカタ、此席ニ調查委員が御出ニナルカラ、明ニ分テ居リマセウ、併シ裏面カラハ運動ガアタカモ知レナイ、英佛ニ向テ出兵ニ就テ「サウンド」セラレタコトハ、是ハ明白ナル事實デアリマス、佛蘭西ニ居タ日本ノ軍人、在外ノ我國ノ外交官等ハ皆ナ之ヲ認メテ居リマス、日本ガ兵ヲ出スカラドウカ君ノ方カラ要求シテ吳レヨト云フ意味ノ要求ガ

英佛ニ對シ内密ニ行ハレタノアリマス、殊ニ陸軍ノ在外「ツツタツセ」等ハ「サウンド」ヲ通り過ぎ、今要求ヲスレバ日本ノ兵ヲ出スト云フヤウナコトヲ、外國ニ向テ公言シタノデ謀本部陸軍省ヲ中心トシテ、出兵ニ最モ熱心デアタコトハ思フ、通ジタコトハ屢々アリマシタ、現陸軍大臣ニ御清聴ヲ煩シテ、私ハ當時ノ狀態ヲ申上ゲマスル、我寺内閣が參謀本部陸軍省ヲ中心トシテ、出兵ニ最モ熱心デアタコトハ、其際中外ノ齊シク認メル所デアラ、屢々英佛ニ向テ出兵ノ「サウンド」ヲシテ搜リテ入レタコトモ顯著ナル事實アリマス、英佛ニ對シテ其方カラ出兵ノ要求ヲスレバ、出スゾト云フ態度デ、或ハ「サウンド」シ、或ハ大使館ノ役人ヲ通ジテ、向フニ意思ヲ通ジタコトハ屢々アリマシタ、然ルニ三月ニ至ルマデ英佛ハ決シテ日本ニ出兵ヲ要求シテ來ナカッタノハ、大ニ先方ガ日本ノ國情ヲ諒解シテ居タカラデアリマス、其裏面ニハ如何ナル事ガアリマシタカ、憲政會ヲ率井テ居ラレル領袖ノ或一人ニシテ、名前ハ申シマセガ、外交ニ堪能ナル人アリマス、其人ノ所ニ英國ノ「エドワードグレー」カラ、日本ハ果シテ出兵が出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ、個人的ニ尋ねテリデハ頗リニ日本ノ出兵ヲ要求スル議論ガアリ、外相「ビション」ノ出兵論ハ隨分露骨ニ發表サレタニ拘ラズ、英國ハ尙ホ自重シテ、日本ニ迷惑ヲ掛ケマヤウニ出兵ノ勸誘ハシナカタノデアリマス、ソレガ三月ニ突如トシテ勸誘ヲシテ來タノハドウニ云フ譯デアルカ、日本ノ政府ハ、當時陸軍ト共ニ國論ヲ開拓シテ出兵ヲ煽る手段ヲ盡シテ居タ、而モ人民ハ無智ナリト或人ニハ申シマスカ、六千万ノ輿論ハ堅實デアラテ、如何ナル陸軍ノ「プロバカンダ」ガアッテモ、出兵ヲ肯ジナカタノデアリマス、「ノウー」ト呼フ者アリ）我陸軍大臣及總理大臣ハ、一國ノ總理大臣トシテミアタカ——陸軍ノ總理大臣トシテ、アタカ明白デナイ——本野外相ヲ說付ケ、遂ニ同意ヲ得ラレタモノト見エル、併シ此問題ハ最初外交調査會ニハ諒解ヲ求メラレナカタ、此席ニ調查委員が御出ニナルカラ、明ニ分テ居リマセウ、併シ裏面カラハ運動ガアタカモ知レナイ、英佛ニ向テ出兵ニ就テ「サウンド」セラレタコトハ、是ハ明白ナル事實デアリマス、佛蘭西ニ居タ日本ノ軍人、在外ノ我國ノ外交官等ハ皆ナ之ヲ認メテ居リマス、日本ガ兵ヲ出スカラドウカ君ノ方カラ要求シテ吳レヨト云フ意味ノ要求ガ

英佛ニ對シ内密ニ行ハレタノアリマス、殊ニ陸軍ノ在外「ツツタツセ」等ハ「サウンド」ヲ通り過ぎ、今要求ヲスレバ日本ノ兵ヲ出スト云フヤウナコトヲ、外國ニ向テ公言シタノデ謀本部陸軍省ヲ中心トシテ、出兵ニ最モ熱心デアタコトハ思フ、通ジタコトハ屢々アリマシタ、現陸軍大臣ニ御清聴ヲ煩シテ、私ハ當時ノ狀態ヲ申上ゲマスル、我寺内閣が參謀本部陸軍省ヲ中心トシテ、出兵ニ最モ熱心デアタコトハ、其際中外ノ齊シク認メル所デアラ、屢々英佛ニ向テ出兵ノ「サウンド」ヲシテ搜リテ入レタコトモ顯著ナル事實アリマス、英佛ニ對シテ其方カラ出兵ノ要求ヲスレバ、出スゾト云フ態度デ、或ハ「サウンド」シ、或ハ大使館ノ役人ヲ通ジテ、向フニ意思ヲ通ジタコトハ屢々アリマシタ、然ルニ三月ニ至ルマデ英佛ハ決シテ日本ニ出兵ヲ要求シテ來ナカッタノハ、大ニ先方ガ日本ノ國情ヲ諒解シテ居タカラデアリマス、其裏面ニハ如何ナル事ガアリマシタカ、憲政會ヲ率井テ居ラレル領袖ノ或一人ニシテ、名前ハ申シマセガ、外交ニ堪能ナル人アリマス、其人ノ所ニ英國ノ「エドワードグレー」カラ、日本ハ果シテ出兵が出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ、個人的ニ尋ねテリデハ頗リニ日本ノ出兵ヲ要求スル議論ガアリ、外相「ビション」ノ出兵論ハ隨分露骨ニ發表サレタニ拘ラズ、英國ハ尙ホ自重シテ、日本ニ迷惑ヲ掛ケマヤウニ出兵ノ勸誘ハシナカタノデアリマス、ソレガ三月ニ突如トシテ勸誘ヲシテ來タノハドウニ云フ譯デアルカ、日本ノ政府ハ、當時陸軍ト共ニ國論ヲ開拓シテ出兵ヲ煽る手段ヲ盡シテ居タ、而モ人民ハ無智ナリト或人ニハ申シマスカ、六千万ノ輿論ハ堅實デアラテ、如何ナル陸軍ノ「プロバカンダ」ガアッテモ、出兵ヲ肯ジナカタノデアリマス、「ノウー」ト呼フ者アリ）我陸軍大臣及總理大臣ハ、一國ノ總理大臣トシテミアタカ——陸軍ノ總理大臣トシテ、アタカ明白デナイ——本野外相ヲ說付ケ、遂ニ同意ヲ得ラレタモノト見エル、併シ此問題ハ最初外交調査會ニハ諒解ヲ求メラレナカタ、此席ニ調查委員が御出ニナルカラ、明ニ分テ居リマセウ、併シ裏面カラハ運動ガアタカモ知レナイ、英佛ニ向テ出兵ニ就テ「サウンド」セラレタコトハ、是ハ明白ナル事實デアリマス、佛蘭西ニ居タ日本ノ軍人、在外ノ我國ノ外交官等ハ皆ナ之ヲ認メテ居リマス、日本ガ兵ヲ出スカラドウカ君ノ方カラ要求シテ吳レヨト云フ意味ノ要求ガ

繰返シタノガ、同胞七百ヲ犠牲ニ供シタ原因トナルノデアリマス（拍手起ル）我外務當局ニシテ、英佛ガ「コルチヤック」ヲ棄テ、ダニキンユーデニヲ棄テサウナ傾向ガ判ラナカヌトスレバ、ソレハ甚ダ迂遠デアル、昨日永井柳太郎君ノ質コトハ「コルチヤック」崩壊ノ原因トナツダト言ハレテ居ル、其デキニンガ倒ルベキ傾向ハ十一月ヲ待タズシテ、大正八年二月ヨリ見エ透イテ居ル、外務省ガ之ヲ諒解ゼザルハ無能デアル、諒解シテ軍事當局者ニ通告シテ、軍事ト外交ト一一致セシメ得ナカツタスレバ、ソレガ日本ノ政治ニ言フベカラザル缺陷ヲ有スル證據デアル（拍手起ル）事實ヲ申シマス、日本ガ六月ニナツテ、形式上ノ「イニシエーブ」ヲ生レテ初メテ……或ハ失言デアルカ知ラヌガ……巴里外交デ初メテ執リ始メタ、其際ニ英佛ノ態度ハ既ニ變シ掛シテ居ツタノデアル、一月ヨリ二月ニワツテハ「ロイドゾージ」「ウキルソン」ヲ主トシテ、所謂「プリンキボー」會議ハ計畫セラレテ居タ、即チ露國各部ノ勢力ヲ調停スル、此「プリンキボー」會議ガ一月ノ頃「クレマンソー」氏ノ負傷ニ依テ中絶セラマシタガ、二月ノ十二日ニ「ロイドゾージ」ハ、過激派ニ打撃ヲ加ヘル考ノ無イコトヲ、議會ニ於テ明白ニ公言シテ居リマス、「ロイドゾージ」ハ斯ウ云フコトヲ言テ居リマス「レニン」政府ハ露國ヲ代表シテ居ナイカモ知レナイ佛蘭西ノ革命ノシ、二十二年ノ間戰爭ヲシタ、今「レニン」政府ヲ壓倒センガ為メニ、再ビ佛蘭西革命當時ノ恩カナル政策ヲ繰返スコト論ガアタ、此議論ニ引掛け、英國ハ佛蘭西ノ内政ニ干涉メ、國際ニモ同様、革命黨ハ佛蘭西ヲ代表シテ居ラスト云フ議論ガアタ、此議論ニ引掛け、英國ハ佛蘭西ノ内政ニ干涉シ、二十九年ノ間戰爭ヲシタ、今「レニン」政府ヲ壓倒センガ為メニ、再ビ佛蘭西革命當時ノ恩カナル政策ヲ繰返スコトハ出來ナイト「ロイドゾージ」が明言シテ居ル、一國ノ首相ガ下院ニ於テ演説シタルコトハ、大使館職員ガ電報トシテ本國ニ打タナケレバナラヌ、外務省ハ英國政策ノ變調ヲ豫メ陸軍ニ通告シ、警戒スル所アラシメナケレバナラヌ、七月二十九日ニ至テハ「ロイドゾージ」ヨリハ對外干涉派トモ謂フベキ、帝國主義者ノ陸軍大臣「チャーチル」ガ下院ニ於テ明白ニ告白シテ居ル（德富蘇峰ノ受賞下呼フ者アリ）本年三月撤兵方針ハ閣議ニテ決定シ、今撤兵ヲ準備中デアッテ、本年中ニハ全部ノ撤兵ヲ終了スルト云フコトヲ、七月二十九日ニ「チャーチル」ガ言テ居リマス、八月下旬ニハ、四千人許リノ英國ノ兵ガ「アルハンダリスク」ヨリ倫敦ニ歸還シタル時ハ、倫敦市民ハ歓迎シテ之ヲ迎ヘマシタ、是ト同時ニデニキン、ユーデニツチノ積極的援助ヲ英國ハ止メタノデアリマス、更ニ九月二十六日ニ至ルト、佛蘭西——最モ過激派政府ヲ忌ム佛蘭西ノビションガ、佛蘭西ノ議會ニ

於テ明言シテ居ル、英國ガ「アルハンダリス」ヨリ兵ヲ引揚  
ダタ以上、佛蘭西ノミ兵ヲ駐ムルコトハ出來ヌ、佛蘭西ハ露  
西亞ニ兵カテ干涉スルト云フコトヲ止メタト云フコトヲ、九  
月二十六日ニ明言シテ居ル、日本ノ「コルチヤック」政府援  
助ガ「コルチヤック」ガ「オムスク」ヲ没落シタノガ、十一月  
十五日デアル、日本ハ列國ノ態度ニ見テ方針ヲ變ジヤウト  
思ヘバ、十分ノ時間ガアツ苦テアル、田中陸軍大臣ハ、ニ  
キンノ失脚ハ即チ「コルチヤック」ノ失脚ノ原因デアルト言ハ  
レタガ、ニキヤンガ失脚スベキ運命ハ二月以後一國ノ總理  
大臣ガ祕密ダナク、明白ニ下院ニ於テ言明セル所ニ依テ明  
カデアル、之ヲ了解セザルハ軍閥一個ノ行動ニアタカ、外務  
大臣ノ打合ニアタカ、此點ヲ明白ニスル必要ガアル（拍手）  
十一月八日「ロイドジョージ」ハ「ギルドボーン」ニ於テ更ニ明  
言シテ居ル、曰ク私ハ率直ニ告白スル、英國ハ一兵モ露西亞  
ニ置イテ居ナイ、皆ナ引揚ダタ對露武力干涉ハ不可能デア  
ル、如何ナル勝利モ、如何ナル大帝國モ、如何ナル英雄モ、露  
西亞ノ砂ノ中ニハ埋レ果テル、露西亞干涉ハ不可能デアル  
ト、斯ウ云フコトヲ十一月八日ニ言シテ居ル、英國ハ政策ヲ  
一變シ、兵ヲ引揚ダルコトヲ宣言シテ居ル、日本ハ兵ヲ置イ  
タ儘ニ、先キガドウナルカ判ラズ、其「コルチヤック」ノ失脚ニ  
キシガ倒レタ爲メダト云フ辯明ニ、私満足スルコトガ出來ナ  
イノデアリマス、日本ハ協調出兵ト申シマスガ、英佛ノ態度ハ  
既ニ斯ノ如クアターニナク、亞米利加モ同様ノ態度ニ變  
リツ、アタ、米國ハ國務卿「ランシング」ガ激シク、過激派攻  
撃ヲ爲シテ居ルニ拘ラズ、亦十字ノ代表「レイモン、ロビンズ」  
ソレカラ「ウキルソン」ノ個人顧問ニアタ新聞記者ノ出身  
「ウイリウム、パリット」ナドハ、密ニ過激派ト本國政府トノ間  
ニ斡旋シテ、米國ノ對露干涉策ヲ和ゲントシツ、アタコト  
ハ、明白ナル事實ニアリマシテ、「パリット」ハ私ノ要求スルカ  
如キ委員會——其亞米利加ノ委員會ニ於テ、明白ニ所謂  
「プリンキピ」會議ノ内幕ヲ説明致シ「ウキルソン」ガ必シモ過  
激派討滅デナイト云フ證據ヲ歴々ト擧ダテ居ルノアリマ  
ス、當時ノ新聞ニ出テ居ルノヲ皆様御覽ニナシタと思フ、斯  
ノ如クナルト、マルデ外務ノ爲ス所ト、陸軍ノ爲ス所トノ統  
一ガアルカ否カ疑ハシイ、外務ニ其眼ガ無イ苦ハナイ、外務  
モ之ヲ諒解セズシテ、一縷ニナシテ妄動ヲ逞シウシテ居ダト  
云ヘバ兩名ノ罪デアルガ、賢明ナル外務大臣ガ其部下ヲ率  
兵ノ要求ヲシテ居ル、恐らく英佛ノ反過激派援助ガ、徹底  
シナクナタコトヲ看テ取テレタカ、其他ノ事情ニ依ルカ、モウ  
少シ増兵シナケレバ、ヤリキレナイト云フ考デアッタラウト思

フ、浦潮司令官カラ八月頃要求ガ來テ居ル、此要求ニ對シテ政府ハ如何ナル態度ヲ執タカ、外交調査會ハ此時又二ソノ議論ニ岐レテ居リマス、政府ハ何ト言シテ提案シタカ、出兵ニ決定シテ置イテ、而シテ亞米利加ノ同意ヲ求メヤウト云フノガ政府案デアツダ外交調査會員某氏ハ其席上ニ於テ、出兵ニ決定シタノナラバ、亞米利加ノ諒解ヲ求ムル必要ハナカラウ、決定シナイノナラバ、亞米利加ノ諒解ヲ得ルコトモ條件トナラウ、出兵ニ決シタナラバ、亞米利加ト相談ヲ待タズシテ、此際速ニ出サナケレバ、陸軍ノ要求ノ間ニ合ハヌ、撤兵ナラバ、撤兵トシテ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ議論ヲシタノニ、ソレガ有耶無耶ニナシテ、矢張米國ニ相談シテ兵ヲ出スト云フコトニナシタ、昨年ノ八月要求ニナシテ居ルノガ、十一月マデモ決マラナイ、亞米利加ハ之ニ返答ヲ與ヘナイ、已ムヲ得ズ十一月ノ我陸軍ノ大演習中ニ、半個師團ヲ出スト云フコトニ決定致シタ、其兵ガ翌年ノ一月、二月頃浦潮ニ上陸シ、過激派ノ騒動ニ依テ豫定ノ目的ニ達シ得ズ、四月ノ武裝解除後彼ノ方面ニ配置セラレタト云フコトハ、陸軍省、海軍省ノ發表セラレタ此文書ノ中ニモ明白ニナッテ居ル、而モ此兵ヲ出スマデ是ダケノ手數ヲ要シテ居ル、陸軍當局ヲシテ言ハシムレバ、我ガ内閣及外交調査會ニ一定方針ナク、逡巡シタル結果、尼港ノ同胞ヲ失ダト説明サレルデアリマセウ、然ラバ責任ハ外交調査會ニアルカ、當局大臣ニアルカ、此點私ハ參謀本部及陸軍大臣ハ、無告ノ窮地ニ在シテ世ノ攻撃ヲ受ケラレル、其心事ヲ諒ト致シマス、右ノヤウナ事情デ、出スベキ時ニ兵ヲ出サナカダ、段々過激派ノ勢ガ強クナリ、十一月「オムスク」、「コルチヤック」ノ没落ヲ來シ、一月ニ至ラテハ遂ニ「コルチヤック」ハ「イルクーフ」ニ死ヌヤウナ始末トナシダノデアル、我政府ハ斯ウナタ時、如何ヨ方針ヲ決定シカ、其時ニ方針テ日本政府ノ方針デアルカ、陸軍ノ方針デアルカ、今マデハ過激派ハ野ヲ分チ山ヲ分ケ、如何ナル所ニアッテモ討伐セヨト言シテ居タ陸軍ガ、一月中旬方針ヲ一變シテ、内政不干渉——過激派ニシテ我軍ヲ方針ヲ決定シカ、其時ニ方針テ日本政府ノ方針デアルカ、積極的ニ攻撃スルニ非ザレバ、之ニ向テ戰闘ヲ開始スベカズト云フ命令ヲ下シタノデアリマス、此命令ガ下ダ時ニ出征軍ハ面喰タ、陸軍大臣ガ個人デ決メラレタカ、參謀本部ノ諒解ガ有タカ無カタカ、用兵ノ責任ノアル參謀本部デハ頻リニ不平ヲ言シテ居ル、斯ノ如キ方針ヲ決メタカラ、尼港ノ大問題ヲ惹起ス原因トナシ、能ク考ヘテ下サイ、昨日マデハ過激派ハ絶對ニ擊破ル——全體日本帝國ノ外交方針ハ「レニン」子ル露西亞ノ政治上ノ實在ヲ外交上ノ目的トシテ、之ヲ取扱フコトヲ止メ、空中ノ幻影トシテ、宗教上ノ怖トシテ、之ニ對シテ不徹底ノ政策ヲ用井來シテ居ル、其當局者ガ出征ノ可憐ナル我兵士ニ向シテ、何ト言シテ來タ

カ、過激派ハ絶對ニ撲滅セヨ、撲滅セヨト命ズルカラニハ、戰争中ニ敵ヲ殲メルコトハ出來ナイカ故ニ、何ト言フカ、惡魔デアル、國體ト一致シナイ、過激派ヲ打潰セ——私ハ日本帝國ノ國體ガ「バルチザン」ノ小守キ過激派ノ流レ位ニ危ウセラレル程ノ、薄弱ナルモノデアルトハ思ハナイ、併ナガラ當局者ハ斯ク我ガ可憐ナル同胞ニ命ジテ、敵ヲ討伐セシメタ可憐ナル兵士ハ、四方ノ狀況ヲ耳ニスルコト能ハズ、過激派ハ惡魔ナリトシテ、本年ノ一月ノ中旬ニ至ルマデ、野ヲ分ケ山ヲ分ケ、雪野ニ臥シ、餓ト戰シテ過激派ヲ追捲ラタ、可憐ナル田中大隊ノ如キハ全滅シ、尼港ノ慘劇ニ類スルコトハ、其以前ニ行ハレテ居タノニアリマス、其過激派ヲ今度ハ絶對ニ討伐スルナ、向フカラ蒐ルマデ討ツナト云フ、是ガ全體不可能デアリマス、私専門家アリマセヌケレドモ、最上ノ防際ハ攻勢防禦デアル、絕對ニ干渉セズシテ、向フカラ討ツノアリテ居ルコトハ不可能デアル、ソレデ過激派ハズル——這入テ來タガ、之ヲ討ツコトガ出來ナイ、昨日マデ惡魔ト憎ンデ居タ其惡魔ト、今度ハ同居セヨト命ゼラル、軍人コソ氣ノ毒デアル、過激派ハ日本軍ガ討伐セザルヲ知シテ、白衛軍ヲ日本軍ノ前デ慘殺スル、日本ノ兵隊ノ前ニ目ヲ剥イテ見セル、唾ヲカケル、有ユル凌辱ヲ加ヘタ、是ニ於テ日本ノ軍隊ハ實ニ氣ノ毒ナ狀態ニ置カレタ、(拍手起ル)一月ニ方針ガ變ルト云フト、直チニ浦潮政府ノ「ロザノフ」ガ失脚シ、「ハバロフスク」ノカルミニフ「ガ失脚シ」「ラゴエスチエンスク」「クズネツ」ノ「カルミニフ」ガ失脚シ「ラゴエスチエンスク」「クズネツ」ノ「カルミニフ」ガ失脚スル、一三月ノ頃ノ新聞ヲ御覽ニナルト、帝國ノ西伯利ニ對スル方針ノ動搖ニ伴フテ、西伯利東部ニハ有ユル慘劇ダ行ハレル、帝國軍隊ノ威信地ヲ拂シテ、西伯利ニ無クナシマダ、私ハ軍人ニ對シテ實ニ可憐ニ思フ、四月四日ノ武裝解除ハ已ムヲ得ズ、我軍隊ガヤラナケレバナラナクナタノアラウ、此時ニ方針テ我國ノ政策ハマダ一致シナイ、四月ノ外交調査會ハ再び愚劣ナル討論ヲ繰返シテ居ノデアリマス、(澤山々々)ト呼フ者アリ)外交調査會ニ政府ハ何ト提議シカ、戰線整理ト云フコトヲ以テ外交調査會ニ撤兵ヲ話シタ、伊東已代治氏ハ之ニ對シテ、戰線整理トハ撤兵ヲ意味スルカ、撤兵トシテ私ハ之ヲ承認スルト言シタ、或外交調査委員ハ、是ハ戰線整理ハ方針デハアルマイ、責任問題デアラウ、昨年八月ノ際ニ過激派ヲ討滅スルト稱シ出兵ヲ要求シタ、政府ノ方針ハ一定不變デナクテハナラヌ、ハナライカト云フコトデアツダ(拍手起ル)是ガ議論トナラ、兵ヲ段々後貝加爾ノ方カラ引揚ゲルト云フコトハ、是ハ敵ハナイカラヤルノアツテ、外交方針ノ蹉跌デアル、責任問題ト云フコトヲ、坊間ニ「プロパカンダ」ヲ爲ス者アリテ、之ヲ

拜聽致シタ次第アリマス、一月ヨリ三月五月ニ夏ニテ、尼港問題ノ遠因近因、有ラユルモノガ現レテ參シテ居リマスガ、此間ノ當局ノ公式ノ報告ニ對シテ幾ラモ疑ノ點ガアリマス、私ハ查問委員ヲ要求スル以上ハ、確ナル證人ヲ此問題ニ引出ス自信ガアリマス、三宅陸軍少佐ノ令兄理學博士三宅驥一氏ノ如キ有ラユル情報私法ヲ齋ラシテ、陸海軍當局者ト押問答セラレ、陸海軍當局者自ラ無方針ニアタト云フコトヲ告白シタ云フ事實ヲ以テ、查問會設置ノ曉ニハ…

○議長(奥繁三郎君) 中野君、查問委員會ノ決議デスカ  
○中野正剛君(續) 査問委員ヲ設置スル——間違ヒマシタ、審查委員會アリマス(「餘り喋舌ルト失敗スルゾ」謹  
スルナ、向フカラ蒐ルマデ討ツナト云フ、是ガ全體不可能デアリマス、私専門家アリマセヌケレドモ、最上ノ防際ハ攻勢防禦デアル、絕對ニ干渉セズシテ、向フカラ討ツノアリテ居ルコトハ不可能デアル、ソレデ過激派ハズル——這入テ來タガ、之ヲ討ツコトガ出來ナイ、昨日マデ惡魔ト憎ンデ居タ其惡魔ト、今度ハ同居セヨト命ゼラル、軍人コソ氣ノ毒デアル、過激派ハ日本軍ガ討伐セザルヲ知シテ、白衛軍ヲ日本軍ノ前デ慘殺スル、日本ノ兵隊ノ前ニ目ヲ剥イテ見セル、唾ヲカケル、有ユル凌辱ヲ加ヘタ、是ニ於テ日本ノ軍隊ハ實ニ氣ノ毒ナ狀態ニ置カレタ、(拍手起ル)一月ニ方針ガ變ルト云フト、直チニ浦潮政府ノ「ロザノフ」ガ失脚シ、「ハバロフスク」ノカルミニフ「ガ失脚シ」「ラゴエスチエンスク」「クズネツ」ノ「カルミニフ」ガ失脚シ「ラゴエスチエンスク」「クズネツ」ノ「カルミニフ」ガ失脚スル、一三月ノ頃ノ新聞ヲ御覽ニナルト、帝國ノ西伯利ニ對スル方針ノ動搖ニ伴フテ、西伯利東部ニハ有ユル慘劇ダ行ハレル、帝國軍隊ノ威信地ヲ拂シテ、西伯利ニ無クナシマダ、私ハ軍人ニ對シテ實ニ可憐ニ思フ、四月四日ノ武裝解除ハ已ムヲ得ズ、我軍隊ガヤラナケレバナラナクナタノアラウ、此時ニ方針テ我國ノ政策ハマダ一致シナイ、四月ノ外交調査會ハ再び愚劣ナル討論ヲ繰返シテ居ノデアリマス、(澤山々々)ト呼フ者アリ)外交調査會ニ政府ハ何ト提議シカ、戰線整理ト云フコトヲ以テ外交調査會ニ撤兵ヲ話シタ、伊東已代治氏ハ之ニ對シテ、戰線整理トハ撤兵ヲ意味スルカ、撤兵トシテ私ハ之ヲ承認スルト言シタ、或外交調査委員ハ、是ハ戰線整理ハ方針デハアルマイ、責任問題デアラウ、昨年八月ノ際ニ過激派ヲ討滅スルト稱シ出兵ヲ要求シタ、政府ノ方針ハ一定不變デナクテハナラヌ、ハナライカト云フコトデアツダ(拍手起ル)是ガ議論トナラ、兵ヲ段々後貝加爾ノ方カラ引揚ゲルト云フコトハ、是ハ敵ハナイカラヤルノアツテ、外交方針ノ蹉跌デアル、責任問題ト云フコトヲ、坊間ニ「プロパカンダ」ヲ爲ス者アリテ、之ヲ

我軍務當局者ニ絶無デアツコトハ、爭ヒ得ザル事實アリマス、(ヒヤー)ト呼フ者アリ、拍手起ル)斯クマデ私ハ申上げタクナイ、此ノ地ニ懸隔セル孤立ノ軍ヲ送シテ、其目的ヲ達スル爲ニハ、有ユル準備ガ必要デアル、又有ユル文明ノ利器ニ依テ之ヲ武裝シ、或ハ飛行機、或ハ機関銃、進シダル武器ニ依テ、アリマセウカ、尼港ノ防禦ニ第一ノ防禦ノミアリテ、一朝變ノ起リタル時ニ、如何ナル行動ニ出ルヤト云フ第二ノ考ガ、

交フルヤ、彼ノ亂雜ナル土匪ニ類スル「ペルチザン」ヨリモ、機  
關銃ノ數ガ少ナカタト云フガ如キコトハ、怠慢ニ非ズシテ  
何ゾヤト私ハ申上ダタイ、是等ハ水掛論ヲ爲スヲ須井ス私  
ノ言ニシテ不十分ナリトスレバ、委員會ヲ設置シテ、之ニ證  
人ヲ召喚セラレタイ、委員會ノ權能トシテ人ヲ強制的召喚  
スルコトハ出來ナイガ、其人ガ義務的ニ、武士的ニ、紳士的  
ニ出席シテ、参考人トナルコトヲ妨ダナイト信ジマス、委員  
會ノ室ニ入ルコトガ出來ナケレバ、別室查問ノ前例モアルト  
信ジマス、之ヲ以テ明白ニシ、總理大臣ト共ニ此時局ノ真相ヲ明白ニ  
シ、斯ノ如キ失態ヲ再ヒセセル事ガ、當局ノ或人ノ言ハレタ  
禍ヲ轉ジテ福ト爲スノ、唯一ノ手段デアルト私ハ思フノデア  
陸軍ノ勝手ナ事ヲヤッタト云フ遺憾千萬ナ事ガアリマセウ、  
互ニ之ヲ明白ニシ、總理大臣ト共ニ此時局ノ真相ヲ明白ニ  
シ、斯ノ如キ失態ヲ再ヒセセル事ガ、當局ノ或人ノ言ハレタ  
禍ヲ轉ジテ福ト爲スノ、唯一ノ手段デアルト私ハ思フノデア  
リマス、五月ニ又尼港ノ虐殺事件ノ騒キノ最中ニ、例ノ緩  
衝地帶問題デ、再ヒ外交失策ヲ繰返シタコトハ今日申シマ  
セス、今ヤ後貝加爾ノ撤兵ヲ實行スルトセバ、後ニハ如何ナ  
ル狀態ニナリマセウカ、「チタ」ノ「セミヨノフ」ハ當然棄テナケ  
レバナリマスマイ、サウフルト「ウエルフネウデンスク」ニ「クラス  
ノシチヨコフ」ガアル、此「クラスノシチヨコフ」ハ「エスエル」デアリマス  
アリマ、シテ、曾テ「ムービン」ト共ニ我カ田中大隊ヲ全滅シ  
タ賊魁アリマス、浦潮政府ハ「メドウエデス」ガ頭ニ居ル、  
其下ニハ「ウインスキ」ガ居ル、「ウインスキ」ハ莫斯科  
過激派デアル、「クラスノシチヨコフ」ハ「エスエル」デアリマス  
ガ、今ヤ過激派ニ傾イテ居ル、浦潮政府ノ内幕ハ、七分過激  
派ニ傾イテ、三分親日派ガ、甚夕薄  
弱デアルト云フコトハ、陸軍當局者ノ御手許ニ報告ガ來テ  
居ルコトト私ハ確信シテ居ル、斯ノ如キ狀態ア、後貝加爾  
ヲ撤兵シテ引揚ゲレバ、「ウエルフネ」下、浦潮トガ相結シテ  
再ヒ排日ヲヤルデアリマセウ、日本兵ハ段々「チタ」カラ引揚  
ケテ來ル、第五師團ガ「チタ」カラ引揚ゲテ來ル、第五師團ノ  
連絡ヲ名トシテ、我國ハ哈爾賓ニ第十六師團ノ一部ヲ置  
イテ居ル、滿洲ノ派遣軍ノ一部ヲ哈爾賓ニ置イテ居ル、是  
ハ「チタ」ニ於ケル、後貝加爾ニ於ケル我軍除シノ連絡ノ  
爲ニ置イテ居ルノデアリマスカラ、後貝加爾ノ撤兵ヲスレバ、  
支那ハ直ナニ哈爾賓ノ撤兵ヲ我國ニ迫テ來ルノデアリマ  
ス、現ニ後貝加爾ノ撤兵ヲ宣告シタル我軍務當局者ハ、外  
務ヲシテ哈爾賓ダケハ、兵ヲ駐メテ置キタイ、外交ノ手腕ニ  
依テ哈爾賓ノ駐兵ヲ相談シテ居ラレル外務ハ、未だ支那  
トノ交渉ニ於テ、哈爾賓駐兵ノ同意ヲ支那カラ得ラレタ  
云フコトヲ私ハ承リマセヌ、油斷スルト支那ハ我國ヲ攻擊  
シ、亞米利加ガ其後ニ就テ、米國、露西亞、支那、三國ノ共  
同排日ガ行ハレ、我帝國ノ外交ハ絶對的ニ極東ニ於テ孤

立スルデアラウト云フコトヲ、本員ハ憂フルノデアリマス、露  
支米三國ノ共同排日ト云フコトハ、架空ノ言デナイ、我國  
ニ出席シテ、参考人トナルコトヲ妨ダナイト信ジマス、委員  
會ノ室ニ入ルコトガ出來ナケレバ、別室查問ノ前例モアルト  
信ジマス、之ヲ以テ明白ニシ、總理大臣ト共ニ此時局ノ真相ヲ明白ニ  
シ、斯ノ如キ失態ヲ再ヒセセル事ガ、當局ノ或人ノ言ハレタ  
禍ヲ轉ジテ福ト爲スノ、唯一ノ手段デアルト私ハ思フノデア  
リマス、五月ニ又尼港ノ虐殺事件ノ騒キノ最中ニ、例ノ緩  
衝地帶問題デ、再ヒ外交失策ヲ繰返シタコトハ今日申シマ  
セス、今ヤ後貝加爾ノ撤兵ヲ實行スルトセバ、後ニハ如何ナ  
ル狀態ニナリマセウカ、「チタ」ノ「セミヨノフ」ハ當然棄テナケ  
レバナリマスマイ、サウフルト「ウエルフネウデンスク」ニ「クラス  
ノシチヨコフ」ガアル、此「クラスノシチヨコフ」ハ「エスエル」デアリマス  
アリマ、シテ、曾テ「ムービン」ト共ニ我カ田中大隊ヲ全滅シ  
タ賊魁アリマス、浦潮政府ハ「メドウエデス」ガ頭ニ居ル、  
其下ニハ「ウインスキ」ガ居ル、「ウインスキ」ハ莫斯科  
過激派デアル、「クラスノシチヨコフ」ハ「エスエル」デアリマス  
ガ、今ヤ過激派ニ傾イテ居ル、浦潮政府ノ内幕ハ、七分過激  
派ニ傾イテ、三分親日派ガ、甚夕薄  
弱デアルト云フコトハ、陸軍當局者ノ御手許ニ報告ガ來テ  
居ルコトト私ハ確信シテ居ル、斯ノ如キ狀態ア、後貝加爾  
ヲ撤兵シテ引揚ゲレバ、「ウエルフネ」下、浦潮トガ相結シテ  
再ヒ排日ヲヤルデアリマセウ、日本兵ハ段々「チタ」カラ引揚  
ケテ來ル、第五師團ガ「チタ」カラ引揚ゲテ來ル、第五師團ノ  
連絡ヲ名トシテ、我國ハ哈爾賓ニ第十六師團ノ一部ヲ置  
イテ居ル、滿洲ノ派遣軍ノ一部ヲ哈爾賓ニ置イテ居ル、是  
ハ「チタ」ニ於ケル、後貝加爾ニ於ケル我軍除シノ連絡ノ  
爲ニ置イテ居ルノデアリマスカラ、後貝加爾ノ撤兵ヲスレバ、  
支那ハ直ナニ哈爾賓ノ撤兵ヲ我國ニ迫テ來ルノデアリマ  
ス、現ニ後貝加爾ノ撤兵ヲ宣告シタル我軍務當局者ハ、外  
務ヲシテ哈爾賓ダケハ、兵ヲ駐メテ置キタイ、外交ノ手腕ニ  
依テ哈爾賓ノ駐兵ヲ相談シテ居ラレル外務ハ、未だ支那  
トノ交渉ニ於テ、哈爾賓駐兵ノ同意ヲ支那カラ得ラレタ  
云フコトヲ私ハ承リマセヌ、油斷スルト支那ハ我國ヲ攻擊  
シ、亞米利加ガ其後ニ就テ、米國、露西亞、支那、三國ノ共  
同排日ガ行ハレ、我帝國ノ外交ハ絶對的ニ極東ニ於テ孤

立スルデアラウト云フコトヲ、本員ハ憂フルノデアリマス、露  
支米三國ノ共同排日ト云フコトハ、架空ノ言デナイ、我國  
ニ出席シテ、参考人トナルコトヲ妨ダナイト信ジマス、委員  
會ノ室ニ入ルコトガ出來ナケレバ、別室查問ノ前例モアルト  
信ジマス、之ヲ以テ明白ニシ、總理大臣ト共ニ此時局ノ真相ヲ明白ニ  
シ、斯ノ如キ失態ヲ再ヒセセル事ガ、當局ノ或人ノ言ハレタ  
禍ヲ轉ジテ福ト爲スノ、唯一ノ手段デアルト私ハ思フノデア  
リマス、五月ニ又尼港ノ虐殺事件ノ騒キノ最中ニ、例ノ緩  
衝地帶問題デ、再ヒ外交失策ヲ繰返シタコトハ今日申シマ  
セス、今ヤ後貝加爾ノ撤兵ヲ實行スルトセバ、後ニハ如何ナ  
ル狀態ニナリマセウカ、「チタ」ノ「セミヨノフ」ハ當然棄テナケ  
レバナリマスマイ、サウフルト「ウエルフネウデンスク」ニ「クラス  
ノシチヨコフ」ガアル、此「クラスノシチヨコフ」ハ「エスエル」デアリマス  
アリマ、シテ、曾テ「ムービン」ト共ニ我カ田中大隊ヲ全滅シ  
タ賊魁アリマス、浦潮政府ハ「メドウエデス」ガ頭ニ居ル、  
其下ニハ「ウインスキ」ガ居ル、「ウインスキ」ハ莫斯科  
過激派デアル、「クラスノシチヨコフ」ハ「エスエル」デアリマス  
ガ、今ヤ過激派ニ傾イテ居ル、浦潮政府ノ内幕ハ、七分過激  
派ニ傾イテ、三分親日派ガ、甚夕薄  
弱デアルト云フコトハ、陸軍當局者ノ御手許ニ報告ガ來テ  
居ルコトト私ハ確信シテ居ル、斯ノ如キ狀態ア、後貝加爾  
ヲ撤兵シテ引揚ゲレバ、「ウエルフネ」下、浦潮トガ相結シテ  
再ヒ排日ヲヤルデアリマセウ、日本兵ハ段々「チタ」カラ引揚  
ケテ來ル、第五師團ガ「チタ」カラ引揚ゲテ來ル、第五師團ノ  
連絡ヲ名トシテ、我國ハ哈爾賓ニ第十六師團ノ一部ヲ置  
イテ居ル、滿洲ノ派遣軍ノ一部ヲ哈爾賓ニ置イテ居ル、是  
ハ「チタ」ニ於ケル、後貝加爾ニ於ケル我軍除シノ連絡ノ  
爲ニ置イテ居ルノデアリマスカラ、後貝加爾ノ撤兵ヲスレバ、  
支那ハ直ナニ哈爾賓ノ撤兵ヲ我國ニ迫テ來ルノデアリマ  
ス、現ニ後貝加爾ノ撤兵ヲ宣告シタル我軍務當局者ハ、外  
務ヲシテ哈爾賓ダケハ、兵ヲ駐メテ置キタイ、外交ノ手腕ニ  
依テ哈爾賓ノ駐兵ヲ相談シテ居ラレル外務ハ、未だ支那  
トノ交渉ニ於テ、哈爾賓駐兵ノ同意ヲ支那カラ得ラレタ  
云フコトヲ私ハ承リマセヌ、油斷スルト支那ハ我國ヲ攻擊  
シ、亞米利加ガ其後ニ就テ、米國、露西亞、支那、三國ノ共  
同排日ガ行ハレ、我帝國ノ外交ハ絶對的ニ極東ニ於テ孤

ナラズシテ獨逸ハ復興シ露國ハ獨逸ノ勢力ニ從屬スベク從テ支那ノ邊境ハ獨露ノ脅威ヲ受クルニ至ルベシ此見地ヨリシテ軍事協約ノ必要ナルヲ認ム」軍事協約ノ鞏固ヲ説イテ居ルノデアリマス「仍テ南北妥協後猶其範囲ヲ擴張シ、且之ヲ永久のモノトシ猶進ンデハ日支兩國ノ攻守同盟ヲ締結セザル可ラズ、但シ右ハ片務的ニ非ズシテ支那ノ主權ヲ妨ゲザルハ勿論也之ニ關シ岑氏ノ考慮ヲ求ム岑氏トハ岑春煊氏ノコトデス「猶借款等ニ對シ要求アレバ相當ノ盡力ヲナスベシ」我ガ軍務當局者ガ支那ノ借款ヲ世話ヲシテヤラウト言フノデアル、「案外下手ダト呼フ者アリ」右ノ本文ハ其儘章氏ニ渡ス苦ナリシモ、猶本庄大佐ヲシテ改刪セシメタル上之ヲ交付スルコトヽシ、右ノ要領ヲ讀ミ聽カスニ止メタリ、改刪シタ本文ハ此處ニアリマス、本文ハ偽リデナイ證據ニハ、名前ヲ舉ゲテ申シマス、當時事ニ携ハリタル小村俊三郎君ガ、進ンデ審査特別委員會を開カレ、バ、明白ニ説明スルト申シテ居ラマス、ソレカラ此以外ニソニ問題ヲ分ケテ居ガ、南北妥協問題ニ我が軍事當局者ガ干涉シテ居ル、是ガ最セ重要要ナル點アリマス、今ノ三回ノ會見ノ中ノ內容ガ此ニ現レテ居ル〔雑誌ノ原稿ハ廢セ〕下呼フ者アリ「雜誌デアリマセ、第一回ノ會見ニ於テ福田日ク「參謀本部ノ目下廣東政府ノ交戰團體承認ニ對スル問題ヲ研究中」第二回十月四日ノ晚精養軒ニ於テ――〔永井ヨリ下手ダ〕「騒ぐナ」ト呼フ者アリ。」

○議長(奥繁三郎君) 静ニ――

〔騒ぐカラ尚々ヤル」ト呼フ者アリ〕

○中野正剛君(續) 「南方ハ北方ト對等ノ地位ヲ得タル後妥協セントノ希望ハ其距離猶大ナリト認ム」南方ニ對スル干渉ニアリマス「南方ハ西南五省ニ止マリ北方領土ノ廣大ナルニ及バズ且實力上南方政府ノ形式未だ整ハズ其主義モ軍政府ニシテ正式政府ニ非ズ其政令ガ西南各省ニ行ハル、ヤモ疑問ナリ而シテ交戰團體ノ承認ハ日本一國ノ關係ニ非ザルニヨリ容易ニ行ハレ難シ隨テ南方ハ必シモ北方ト對等ノ地位ヲ得ルヲ待タズ此際南方ノ欲スル所ヲ日本ニ打明ケ將來ノ位地立場其他一切ノ事件ヲ日本ニ託セバ日本ハ決シテ惡ク取計ハザルベシ」南北妥協ヲ我當局者ガ命ジテ、唐紹儀ト詰合タ際ニ南方ハ其條件ヲ日本ニ託セヨト言テ居マス、是レ明ニ軍部ノ南方干渉ニアリマス章之ニ答ヘテ曰ク「貴見ノ如クナレバ、矢張承認問題ニ立歸ラザル可カラズ然ラバ公然日本ヲ居中調停者トシテ万事ヲ託スルヲ得ベキモ然ラザル限り内政干渉ノ廉ニヨリ

直チニ支那國民全體ノ反對ヲ惹起シ事實全然不可能ナリ」下簡單ニ答ヘテ他ヲ曰ハズ、此會見ノ結果ハ唐紹儀及章士郎ヲ非常ニ失望セシメ、我ガ原内閣ノ成立最初ニ於ケル南北妥協方針ハ到底物ニナラヌト見切付ケテ、章士郎ヲナスベシ「我ガ軍務當局者ガ支那ノ借款ヲ世話ヲシテヤラウト言フノデアル、〔案外下手ダト呼フ者アリ〕」右ノ本文ハ其儘章氏ニ渡ス苦ナリシモ、猶本庄大佐ヲシテ改刪セシメタル上之ヲ交付スルコトヽシ、右ノ要領ヲ讀ミ聽カスニ止メタリ、改刪シタ本文ハ此處ニアリマス、本文ハ偽リデナイ證據ニハ、名前ヲ舉ゲテ申シマス、當時事ニ携ハリタル小村俊三郎君ガ、進ンデ審査特別委員會を開カレ、バ、明白ニ説明スルト申シテ居ラマス、ソレカラ此以外ニソニ問題ヲ分ケテ居ガ、南北妥協問題ニ我が軍事當局者ガ干涉シテ居ル、是ガ最セ重要要ナル點アリマス、今ノ三回ノ會見ノ中ノ內容ガ此ニ現レテ居ル〔雑誌ノ原稿ハ廢セ〕下呼フ者アリ「雜誌デアリマセ、第一回ノ會見ニ於テ福田日ク「參謀本部ノ目下廣東政府ノ交戰團體承認ニ對スル問題ヲ研究中」第二回十月四日ノ晚精養軒ニ於テ――〔永井ヨリ下手ダ〕「騒ぐナ」ト呼フ者アリ。」

○議長(奥繁三郎君) 静ニ――

〔騒ぐカラ尚々ヤル」ト呼フ者アリ〕

○中野正剛君(續) 「南方ハ北方ト對等ノ地位ヲ得タル後妥協セントノ希望ハ其距離猶大ナリト認ム」南方ニ對スル干渉ニアリマス「南方ハ西南五省ニ止マリ北方領土ノ廣大ナルニ及バズ且實力上南方政府ノ形式未だ整ハズ其主義モ軍政府ニシテ正式政府ニ非ズ其政令ガ西南各省ニ行ハル、ヤモ疑問ナリ而シテ交戰團體ノ承認ハ日本一國ノ關係ニ非ザルニヨリ容易ニ行ハレ難シ隨テ南方ハ必シモ北方ト對等ノ地位ヲ得ルヲ待タズ此際南方ノ欲スル所ヲ日本ニ打明ケ將來ノ位地立場其他一切ノ事件ヲ日本ニ託セバ日本ハ決シテ惡ク取計ハザルベシ」南北妥協ヲ我當局者ガ命ジテ、唐紹儀ト詰合タ際ニ南方ハ其條件ヲ日本ニ託セヨト言テ居マス、是レ明ニ軍部ノ南方干渉ニアリマス章之ニ答ヘテ曰ク「貴見ノ如クナレバ、矢張承認問題ニ立歸ラザル可カラズ然ラバ公然日本ヲ居中調停者トシテ万事ヲ託スルヲ得ベキモ然ラザル限り内政干渉ノ廉ニヨリ

直チニ支那國民全體ノ反對ヲ惹起シ事實全然不可能ナリ」下簡單ニ答ヘテ他ヲ曰ハズ、此會見ノ結果ハ唐紹儀及章士郎ヲ非常ニ失望セシメ、我ガ原内閣ノ成立最初ニ於ケル南北妥協方針ハ到底物ニナラヌト見切付ケテ、章士郎ヲナスベシ「我ガ軍務當局者ガ支那ノ借款ヲ世話ヲシテヤラウト言フノデアル、〔案外下手ダト呼フ者アリ〕」右ノ本文ハ其儘章氏ニ渡ス苦ナリシモ、猶本庄大佐ヲシテ改刪セシメタル上之ヲ交付スルコトヽシ、右ノ要領ヲ讀ミ聽カスニ止メタリ、改刪シタ本文ハ此處ニアリマス、本文ハ偽リデナイ證據ニハ、名前ヲ舉ゲテ申シマス、當時事ニ携ハリタル小村俊三郎君ガ、進ンデ審査特別委員會を開カレ、バ、明白ニ説明スルト申シテ居ラマス、ソレカラ此以外ニソニ問題ヲ分ケテ居ガ、南北妥協問題ニ我が軍事當局者ガ干涉シテ居ル、是ガ最セ重要要ナル點アリマス、今ノ三回ノ會見ノ中ノ內容ガ此ニ現レテ居ル〔雑誌ノ原稿ハ廢セ〕下呼フ者アリ「雜誌デアリマセ、第一回ノ會見ニ於テ福田日ク「參謀本部ノ目下廣東政府ノ交戰團體承認ニ對スル問題ヲ研究中」第二回十月四日ノ晚精養軒ニ於テ――〔永井ヨリ下手ダ〕「騒ぐナ」ト呼フ者アリ。」

○議長(奥繁三郎君) 静ニ――

〔騒ぐカラ尚々ヤル」ト呼フ者アリ〕

○中野正剛君(續) 「南方ハ北方ト對等ノ地位ヲ得タル後妥協セントノ希望ハ其距離猶大ナリト認ム」南方ニ對スル干渉ニアリマス「南方ハ西南五省ニ止マリ北方領土ノ廣大ナルニ及バズ且實力上南方政府ノ形式未だ整ハズ其主義モ軍政府ニシテ正式政府ニ非ズ其政令ガ西南各省ニ行ハル、ヤモ疑問ナリ而シテ交戰團體ノ承認ハ日本一國ノ關係ニ非ザルニヨリ容易ニ行ハレ難シ隨テ南方ハ必シモ北方ト對等ノ地位ヲ得ルヲ待タズ此際南方ノ欲スル所ヲ日本ニ打明ケ將來ノ位地立場其他一切ノ事件ヲ日本ニ託セバ日本ハ決シテ惡ク取計ハザルベシ」南北妥協ヲ我當局者ガ命ジテ、唐紹儀ト詰合タ際ニ南方ハ其條件ヲ日本ニ託セヨト言テ居マス、是レ明ニ軍部ノ南方干渉ニアリマス章之ニ答ヘテ曰ク「貴見ノ如クナレバ、矢張承認問題ニ立歸ラザル可カラズ然ラバ公然日本ヲ居中調停者トシテ万事ヲ託スルヲ得ベキモ然ラザル限り内政干渉ノ廉ニヨリ

直チニ支那國民全體ノ反對ヲ惹起シ事實全然不可能ナリ」下簡單ニ答ヘテ他ヲ曰ハズ、此會見ノ結果ハ唐紹儀及章士郎ヲ非常ニ失望セシメ、我ガ原内閣ノ成立最初ニ於ケル南北妥協方針ハ到底物ニナラヌト見切付ケテ、章士郎ヲナスベシ「我ガ軍務當局者ガ支那ノ借款ヲ世話ヲシテヤラウト言フノデアル、〔案外下手ダト呼フ者アリ〕」右ノ本文ハ其儘章氏ニ渡ス苦ナリシモ、猶本庄大佐ヲシテ改刪セシメタル上之ヲ交付スルコトヽシ、右ノ要領ヲ讀ミ聽カスニ止メタリ、改刪シタ本文ハ此處ニアリマス、本文ハ偽リデナイ證據ニハ、名前ヲ舉ゲテ申シマス、當時事ニ携ハリタル小村俊三郎君ガ、進ンデ審査特別委員會を開カレ、バ、明白ニ説明スルト申シテ居ラマス、ソレカラ此以外ニソニ問題ヲ分ケテ居ガ、南北妥協問題ニ我が軍事當局者ガ干涉シテ居ル、是ガ最セ重要要ナル點アリマス、今ノ三回ノ會見ノ中ノcontenidoガ此ニ現レテ居ル〔雑誌ノ原稿ハ廢セ〕下呼フ者アリ「雜誌デアリマセ、第一回ノ會見ニ於テ福田日ク「參謀本部ノ目下廣東政府ノ交戰團體承認ニ對スル問題ヲ研究中」第二回十月四日ノ晚精養軒ニ於テ――〔永井ヨリ下手ダ〕「騒ぐナ」ト呼フ者アリ。」

○議長(奥繁三郎君) 静ニ――

〔騒ぐカラ尚々ヤル」ト呼フ者アリ〕

○中野正剛君(續) 「南方ハ北方ト對等ノ地位ヲ得タル後妥協セントノ希望ハ其距離猶大ナリト認ム」南方ニ對スル干渉ニアリマス「南方ハ西南五省ニ止マリ北方領土ノ廣大ナルニ及バズ且實力上南方政府ノ形式未だ整ハズ其主義モ軍政府ニシテ正式政府ニ非ズ其政令ガ西南各省ニ行ハル、ヤモ疑問ナリ而シテ交戰團體ノ承認ハ日本一國ノ關係ニ非ザルニヨリ容易ニ行ハレ難シ隨テ南方ハ必シモ北方ト對等ノ地位ヲ得ルヲ待タズ此際南方ノ欲スル所ヲ日本ニ打明ケ將來ノ位地立場其他一切ノ事件ヲ日本ニ託セバ日本ハ決シテ惡ク取計ハザルベシ」南北妥協ヲ我當局者ガ命ジテ、唐紹儀ト詰合タ際ニ南方ハ其條件ヲ日本ニ託セヨト言テ居マス、是レ明ニ軍部ノ南方干渉ニアリマス章之ニ答ヘテ曰ク「貴見ノ如クナレバ、矢張承認問題ニ立歸ラザル可カラズ然ラバ公然日本ヲ居中調停者トシテ万事ヲ託スルヲ得ベキモ然ラザル限り内政干渉ノ廉ニヨリ

査會ノ必要ガアルノアリマスカラシテ、中野君ノ提案ノ理由ナルモノハ即チ最ニ雄辯ニ調査會ヲ設置スベカラズト云マス(拍手起ル「ノウ」「下呼フ者アリ)尼港ノ問題ニ就キマシテハ、政府モ屢々是ガ眞相ニ就テ發表ヲ致シタノアリマス(何時發表シタ「下呼フ者アリ)又本議場ニ於テ屢々質問應答ヲ繰返シマシテ當局者ハ責任ヲ以テ、之ニ答辯致シテ居ルノアリマス(堅白異同ノ點ナリ)政府ノ代表ヲスルナ「ト呼フ者アリ)既ニ此ノ如ク事件カ明白ニナシテ居リマスル以上ハ(何が明白ダ)ト呼フ者アリ)更ニ此上調査會ヲ設置スル必需要ガ果シテ何處ニアルアリマセウカ、若シ調査會ヲ設置スルノ必要アリト致シマスナラバ、提案者ハ更ニ如何ナル理由ニ依テ政府ノ答辯、或ハ政府ノ公報ヲ信ズ可カラズト云フダケノ有力ナル理由ヲ提出シナケレバナラメノアリマス(提出シテ居ルデハナイカ)ト呼フ者アリ然ルニ中野君ノ説明ニ依リマスレバ悉ク是レ獨斷アリテ、此獨斷ニ依テ當ニ政府ノ材料信ズベカラズト云フニ止テ、更ニ之ヲ打消スダケノ有力ナル理由ガアルト云フコトヲ吾ニ首肯スルコトガ出來ナイノアリマセ(拍手起ル「議論ガ判ラヌ」要領ヲ得ナイ)ト呼フ者アリ)又若シ調査會ノ設置が必要ヌアルト申シマスルニ就キマシテ、政府ノ發表シタル所ノ材料、或ハ政府ガ答辯シタル所ノ答辯ガ不信用デアルカラシテ、調査委員會ヲ開いて之ヲ查問シナケレバナラバ、此不信用ノ政府ガ提供すべき材料モ亦信ズベカラズト云フ結論ニ陥ルデハアリマセヌカ(成テ居ナイ)ト呼フ者アリ)既ニ一方ニ於テ政府信ズ可カラズト唱ヘナガラニ至テ、此信ズベカラザル政府ノ材料ニ依テ、調査事件ニ對シマシテハ、本議場内ニ於テ既ニ屢々質問應答ガ繰返サレタノアルカラ致シマシテ、私ハ今更之ヲ繰返ス必要ヲ認メナイノアリマス(拍手起ル「中野君ノ指摘シタコトヲ具體的ニ事實ヲ指摘シテ反駁シタマヘ」ト呼フ者アリ)尼港野君ノ提案ノ理由ヲ承テ見マスルト、又提案ノ理由書ニ依テ見マスルト、尼港事件ガ發生致シタノハ全ク我國ノ制度ニ缺陷ガアルカラズアルト云フヤウニ吾ニ承知致シタノアリマス、即チ外交調査會、或ハ内閣ト陸軍ノ間ニアリマス(支離滅裂ダ)ト呼フ者アリ)中野トカ或ハ陸軍ト外務省ノ間ニアリマス(其通リ)御前ハ判ラヌ「名論卓說簡單」ト呼ヒ拍手スル者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 中野君發言ヲ止メマヌ  
〔「政友會ノ方ヲ止メルガ宜イ」ト呼フ者アリ〕  
○一宮房次郎君(續) 併シ吾ミト雖モ時ニハ事實上ニ於テハ其運用上ニ抵觸ノ來スコトノアルヲ認メナイコトハナルトカ、此禍ノ永遠ニ除カナケレバナラヌ、斯ク中野君ハアルカラシテ、遂ニ此ノ如キ事件ヲ來シタノアリアル、吾ミハ飽迄斯ル事件ノ善後ヲ圖ル爲ミニ、之ヲ根本的ニ調査シテ、此禍ノ永遠ニ除カナケレバナラヌ、斯ク中野君ハアルカラシテ、中野君ノ提案ノ理由ヲ説明サレテ居ルノアリマスガ、我國ニ於テ

果シテ此ノ如キ制度上ノ缺陷ガアルデアリマセウカ「アルト呼フ者アリ)私ノ信ジマスル所ニ依リマスレバ、我國ニ於テハ何等此間ニ制度上ノ缺陷ハナインデアリマス、御承知ノマス(拍手起ル「ノウ」「下呼フ者アリ)尼港ノ問題ニ就キマシテハ、政府モ屢々是ガ眞相ニ就テ發表ヲ致シタノアリマス(何時發表シタ「下呼フ者アリ)又本議場ニ於テ屢々質問應答ヲ繰返シマシテ當局者ハ責任ヲ以テ、之ニ答辯致シテ居ルノアリマス(堅白異同ノ點ナリ)政府ノ代表ヲスルナ「ト呼フ者アリ)既ニ此ノ如ク事件カ明白ニナシテ居リマスル以上ハ(何が明白ダ)ト呼フ者アリ)更ニ此上調査會ヲ設置スル必需要ガ果シテ何處ニアルアリマセウカ、若シ調査會ヲ設置スルノ必要アリト致シマスナラバ、提案者ハ更ニ如何ナル理由ニ依テ政府ノ答辯、或ハ政府ノ公報ヲ信ズ可カラズト云フダケノ有力ナル理由ヲ提出シナケレバナラメノアリマス(提出シテ居ルデハナイカ)ト呼フ者アリ然ルニ中野君ノ説明ニ依リマスレバ悉ク是レ獨斷アリテ、此獨斷ニ依テ當ニ政府ノ材料信ズベカラズト云フニ止テ、更ニ之ヲ打消スダケノ有力ナル理由ガアルト云フコトヲ吾ニ首肯スルコトガ出來ナイノアリマセ(拍手起ル「議論ガ判ラヌ」要領ヲ得ナイ)ト呼フ者アリ)又若シ調査會ノ設置が必要ヌアルト申シマスルニ就キマシテ、政府ノ發表シタル所ノ材料、或ハ政府ガ答辯シタル所ノ答辯ガ不信用デアルカラシテ、調査委員會ヲ開いて之ヲ查問シナケレバナラバ、此不信用ノ政府ガ提供すべき材料モ亦信ズベカラズト云フ結論ニ陥ルデハアリマセヌカ(成テ居ナイ)ト呼フ者アリ)既ニ一方ニ於テ政府信ズ可カラズト唱ヘナガラニ至テ、此信ズベカラザル政府ノ材料ニ依テ、調査事件ニ對シマシテハ、本議場内ニ於テ既ニ屢々質問應答ガ繰返サレタノアルカラ致シマシテ、私ハ今更之ヲ繰返ス必要ヲ認メナイノアリマス(拍手起ル「中野君ノ指摘シタコトヲ具體的ニ事實ヲ指摘シテ反駁シタマヘ」ト呼フ者アリ)尼港野君ノ提案ノ理由ヲ承テ見マスルト、又提案ノ理由書ニ依テ見マスルト、尼港事件ガ發生致シタノハ全ク我國ノ制度ニ缺陷ガアルカラズアルト云フヤウニ吾ニ承知致シタノアリマス、即チ外交調査會、或ハ内閣ト陸軍ノ間ニアリマス(支離滅裂ダ)ト呼フ者アリ)中野トカ或ハ陸軍ト外務省ノ間ニアリマス(其通リ)御前ハ判ラヌ「名論卓說簡單」ト呼ヒ拍手スル者アリ)  
○議長(奥繁三郎君) 中野君發言ヲ止メマヌ  
〔「政友會ノ方ヲ止メルガ宜イ」ト呼フ者アリ〕  
○一宮房次郎君(續) 併シ吾ミト雖モ時ニハ事實上ニ於テハ其運用上ニ抵觸ノ來スコトノアルヲ認メナイコトハナルトカ、此禍ノ永遠ニ除カナケレバナラヌ、斯ク中野君ハアルカラシテ、中野君ノ提案ノ理由ヲ説明サレテ居ルノアリマス、其最モ著シキ例ハ、例ヘバ大隈内閣時代ニイノアリマス、其最モ著シキ例ハ、例ヘバ大隈内閣時代ニ於ケル例ノ如キハ、其一ツアリマス(其通リ)下呼フ者アリ)御承知ノ如ク大隈内閣ノ時代ニ於キマシテ南方ニ革命日露戰爭ノ結果ニ依テ、我國ノ利權ト云フモノガ非常ニ植付ケラレ、我國ノ利害關係ト云フモノガ最モ密接ナル關係

ヲ有シテ居ルノニアリマス、又朝鮮ニ於キマシテハ露西亞ノ國境デアル所ノ間島ヲ中心ト致シマシテ、數十万ノ不逞ナル所ノ鮮人が居シテ、動モスレバ我ガ朝鮮ノ治安ヲ脅カサント致シテ居ルノニアリマス、此過激派ノ跋扈ヲ逞シクスル際に於テ、彼等ト鮮人ト互ニ相氣脈ヲ通ジテ、朝鮮ノ治安ヲ脅スコトヲ防グト云フノヘ、我國ノ存在上最モ必要ナル所ノ目的ト共ニ此接壤地ノ治安ヲ維持スルト云フコトヲ、西伯利出兵ノ目的トシタト云フコトハ、私ハ最モ機宜ヲ制シタルコトデアルト思フノニアリマス(「簡単」ト呼ヒ、拍手スル者アリ)又西伯利ニ於キマシテハ、浦潮首メ少ナカラザル所ノ居留民ガ數十年ノ努力ニ依テ我國威ノ發揚ニ努メテ居ルノニアリマス、數十人ノ居留民ニ對シテ、又是等居留民ガ二十年餘ニ亘ニ植付タル利權ニ對シテ、之ヲ保護致スガ爲メニ西伯利、「チエクスローアップ」助ヶ、或ハ隣境ノ治安ヲ維持スルト共ニ、此事モ亦西伯利出兵ノ目的ト致スト云フコトハ、決シテ誤タコトデハナイト思フノニアリマス、西伯利出兵ノ目的ハ、此三目的ノ外ヲ出タモノハナイノデアリマス(「撤兵ノ責任ハドウスル」ト呼フ者アリ)唯「チタ」ニ於テ撤兵ノ宣言ヲ致シマシタノハ、所謂「チエクスローアップ」ノ救護ノ目的ヲ達シテ、最早「チタ」方面ニ駐兵ヲ必要トシナイヤウニナ、タカラデアリマス、「チエクスローアップ」ノ救護ト共ニ、即チ「チタ」撤兵ト云フコトハ、當然ナル歸結アアルト私ハ思フノニアリマス(「拍手起ル」斯ノ如ク西伯利アヘラレタルヤウデアリマスケレドモ、多クハ是ハ獨斷的ノコトアル、吾ハ之ニ對シテ何等ノ信認ヲ拂フコトハ出來ナインデアリマス(「拍手起ル」尼港問題ニ就キマシテハ、既ニ本議會ニ於テ屢々質問應答ヲ重ね、此結果ガ生ジタルコトニ對シテ、政府ニ對シテ何等ノ責任無イコトハ、既ニ責任アル大臣ニ依テ屢々言明サレタノニアリマス、元來「ニコライエフスク」ノ土地ニ於キマシテ……)

○議長(奥繁三郎君) 中野寅吉君、發言ヲ禁シマス

○一宮房治郎君(續) 最初我守備隊ガ駐劄以來二年間ノ久シキニ亘テ、何等危險ナル狀態ヲ發見致サナカダノニアリマス、又「ニコライエフスク」ノ地ハ過激派ノ最モ中心デアル所ノ「ハバロフスク」或ハ「ブランエエンスク」或ハ「ハバロフスク」ノ如キ地方ニ於テハ、所謂「オム

スク」政府が確立致シテ居リマス際ニ於テモ、絶エズ過激派ノ襲來ガアリマシテ、甚ダ不穏ニアタノニアリマスケレドモ「ニコライエフスク」三於テハ二年間ノ久シキ、即チ昨年末ニ至ルマデハ、殆ド過激派ノ影ヲ見ルコトハナカタノニアリマス、此土地ニ對シテ二年間ノ久シキ間ノ經驗ニ依テ、一個中隊ノ兵ヲ以テ此守備ガ十分アルト陸軍部が認メタト云フコトハ、私ハ決シテ是ハ大失態ナリト云フコトハ、出來ナイト思フノニアリマス(「ノウ」大ノウ)ト呼フ者アリ)且又「ニコライエフスク」ノ所謂危急ノ状態ニナリマシタノハ、昨年ノ末ノ事デアルノニアリマス、此時ニ於テハ既ニ「ニコライエフスク」ノ結氷ノ期間ニ至リマシテ、救護ハ甚ダ不便ニアタノデアリマス、或ハ「ハバロフスク」カラ致シマシテ、何故「オムスク」政府ノ没落ト共ニ「ニコライエフスク」ノ形勢ト云フモノハ、多少ノ危險ヲ告ルアナイカ、之ニ對シテ何故「ハバロフスク」ヨリ救援隊ヲ出シ得ナカタノアルカト非難サレルヤウデアリマスケレドモ、諸君が御承知ノ如ク「オムスク」政府ノ没落ト共ニ「ハバロフスク」、「ラゴエチエンスク」等ハ過激派ノ發生ガ盛デアリマシテ、之ヲ其當時ノ駐在軍ヲ以テ保護スルノモ甚ダ困難ヲ致シタヤウナ次第アル、特ニ「ハバロフスク」三對シテハ、我國ヨリ致シマシテ増遣隊ヲ派遣スル必要ヲ來シタ程デアルノニアリマス、斯ル狀態ヲ於テ其兵ヲ割イテ所謂「ニコライエフスク」ニ增遣スルガ如キハ、軍略上到底出來ナイ所デアリ(「オムスク」政府沒落ト共ニ増遣隊ヲ派セナカタト云フコトハ、私ハ決シテ軍事上ノ失態ニアラズト信ズルノニアリマス、又元來外國ノ地方ニ於テ我國民ガ發展スル(「モウ澤山ダ」ト呼フ者アリ)是等ノ國民ガ發展ヲアアルト私ハ思フノニアリマス、之ニ對シテ軍事上ノ失態ニアラズト信ズルノニアリマス、斯ルノモナラズ又ハ「ハバロフスク」ノ少ナイ土地ニ向テ、我民衆ト云フモノハ發展スルノニアリマスカラシテ、斯ル土地ニ於テハ多少ノ危險ト云フモノハ固ヨリアルノニアリマス、此多少ノ危險ヲ當シテ我國民ガ發展スル所ニ、我國民ノ最モ賴シイ發展性ガアルノニアリマス此賴シキ所ノ國民ノ發展ニ對シテ多少ノ不安ガアリ、萬々ノニアリマス(「拍手起ル」尼港問題ニ就キマシテハ、既ニ本議會ニ於テ屢々質問應答ヲ重ね、此結果ガ生ジタルコトニ對シテ、政府ニ對シテ何等ノ責任無イコトハ、既ニ責任アル大臣ニ依テ屢々言明サレタノニアリマス、元來「ニコライエフスク」ノ土地ニ於キマシテ……)

(此時發言スル者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 中野寅吉君、發言ヲ禁シマス

○一宮房治郎君(續) 最初我守備隊ガ駐劄以來二年間ノ久シキニ亘テ、何等危險ナル狀態ヲ發見致サナカダノニアリマス、又「ニコライエフスク」ノ地ハ過激派ノ最モ中

心デアル所ノ「ハバロフスク」或ハ「ブランエエンスク」地方ヨリ非常ニ遠隔ノ地ニ在リマシテ、所謂過激派ノ襲來ト云フコトノ危険ハ、比較的ニ少ナカタノニアリマス、ブランエエンスク」或ハ「ハバロフスク」ノ如キ地方ニ於テハ、所謂「オムスク」ノ要スルニ中野君ノ御説ヲ承テ見マシテモ、何等調會ヲ設置スルマデ、此調查ヲ爲サナケレバナラヌト云フ必要ハ如何ニシテモ之ヲ認ムルコトハ出來ナイノニアリマス、此理由ニ於テ私ハ本案ガ多數ヲ以テ否決セラレンコトヲ希期スルモノニアリマス(「拍手起ル」)

○議長(奥繁三郎君) 佐々木安五郎君(拍手起ル)

(佐々木安五郎君登壇)

○佐々木安五郎君 諸君、私ハ中野正剛君ノ提出セル尼港問題調査會設置ニ賛成ノ演説ヲ致シマス、更メテ申マスデモナク、私ハ無所屬ニアリマス故ニ、此問題ヲ黨派的ニ取扱フト云フ考ハ毛頭持テ居リマセヌ、私ノ前ニ政友會ノ若手ノ議員一宮君ガ絶大ノ雄辯ヲ揮ハレマシタ、併シ私は黨派の考デ議論ヲシマセヌカラ、一宮君ノ議論ニ對シテ別ニ攻撃モ反駁モ加ヘマセヌ、私ノ話シテ行ク中ニ多分獨リデ倒レルデアラウ思ウテ居リマス(笑聲起ル)此問題ハ黨派ヲ超越セル問題トシテ取扱ヒタイ、ソレニ就テ憲政會ノ方ノ閨將モ、國民黨ノ閨將モ、申込ガアリナガラ中止セラマシタ譯デ、一番最後ニ出ルベキ私ガ、此幕ニ出ルノ光榮ヲ有シタ譯ニアリマヘン私ハ何ヲ隠シマセウ、原内閣ノ成立當時、造ルト云フコトハ、日本ノ憲政史上ニ一新紀元ヲ畫スルモノトシテ喜ンダモノニアリマス、何ガ爲メニ之ヲ喜ブカト言ヒマスルト、政黨内閣、平民内閣ハ開放的ノ内閣アル、立憲政治ハ開放的ノ政治アル、秘密暗黒ト云フコトヲ忌ム政治アル、祕密暗黒ト云フモノハ、官僚政治、閨族政治、閨族政治ハ開放的ノ政治アル、祕密暗黒ト云フコトヲ忌ム政治アル、祕密暗黒ト云フモノハ、官僚政治、閨族政治ニ伴フ惡弊ニアリマス、此惡弊ノ祕密暗黒ノ官僚政治、斯くナカレタル形ガアリマス(「拍手起ル」)何ガ爲メアルカト言ヒテ賀セザルヲ得ヌト云フ譯デ、其祝賀會ニモ臨ンダモノニアリマス、然ルニ今日ニ於キマシテ見マスルト、私ノ歡喜ノ情ハ裏切ラレタル形ガアリマス(「拍手起ル」)何ガ爲メアルカト言ヒマスルト、此問題ヲ出スニ就テハ、定メテ政黨内閣、平民内閣ノ原總理大臣ヲ總裁トシテ戴イテ居ル政友會員ハ、滿場一致ヲ以テ歓迎ヲシ、之ニ依テ自己ノ誤リナキコトヲ證明シテ之ニ依テ自己ノ違算ナキコトヲ世上ニ發表スル好機会ヲ得タト喜ブグラウト私ハ期待シテ居タ、然ルニモ拘ハラズ、此問題ヲ提出スルト、政友會ノ方カラ反對ヲスルト云フ奇ナカル現象ヲ見マシタ、是ハ何ノ爲メニアリマス、斯ノ如クナレバ則チ光明ヲ去リテ暗黒ニ入り、喬木ヲ降リテ幽谷ニ入ルモノニアリアル、故ニ今日ノ有様ヲ御覽ナサイ、若シ政友會内閣ナルモノニ、天下公衆ガ一點ノ疑惑ヲ有セば、此内

閣ノ遣リ方ガ公明正大デアツテ、如何ニモ立憲的平民内閣デアリ、立憲的政黨内閣デアルト云フナラバ、我全國六千万ノ民衆ハ翁然トシテ之ニ傾キ、貴族院ノ門前ヨリ衆議院ノ門前ノ方カ安全ナルベキ筈デアルニ拘ラズ、天下公衆ハ重キフ貴族院ニ繫イデ、却テ衆議院ヲ呪フヤウナ傾カアルノハ何故デアルカ、（「ノウー」ト呼フ者アリ）斯ク申不ニモルベキ機会ヲ與ヘ、大慈悲心ヲ起シテ、大ナル慈悲心ヲ起シテ、我ニ無所屬ガ提出シシノヲ有難ク受ケキデハナイカ、然ルニモ拘ラズニ一向ヲ反対ヲシテ、多數ヲ恃ミ採消サウ起ル）是ハ即チ暗黒ノ影ガ伴フカラデアル、此暗黒ノ影ヲ取去、ハ何故デアルカ、（「ノウー」ト呼フ者アリ）斯ク申不ニモルベキ機会ヲ與ヘ、大慈悲心ヲ起シテ、大ナル慈悲心ヲ起シテ、我ニ無所屬ガ提出シシノヲ有難ク受ケキデハナイカ、然ルニモ拘ラズニ一向ヲ反対ヲシテ、多數ヲ恃ミ採消サウ起ルカラ、モウ調査ハ要ラヌデハナイカト云フコトヲ言ハレマシタ、斷定的デアツテ調査ハ要ラスト云フコトハ、中野君ノ説ヲ中ニ男ト女ノ名ガ書イテアル、之ヲ消ヤセバ愈々眞ナリト云フコトガアル、唯今一宮君ノ説ニ、中野君ノ論ハ断定的デアルカ、モウ調査ハ要ラヌデハナイカト云フコトヲ言ハレマシタ、斷定的デアツテ調査ハ要ラスト云フコトハ、中野君ノ説ヲ總テ是認シタコトニナル、中野君ノ議論ハ私ハ徹頭徹尾眞實カ嘘カ知ラナイ、知ラナイガ之ニ對シテ言分ガアルナラバ、調査會ヲ開イタ上デ隠レモナク、明カニ正々堂々ト討論スルガ宜イト云フノガ吾ミノ考デアル、御用黨ハ勿論必要ナシト言ハサルヲ得マイ、ソレデナケレバ御用黨ハ勤マルモノデナイ然ルニ拘ラズ唯今並ベラレタル中野君反対ノ説ハ、何處ヲ何ト言ハレタカ、マルデ支離滅裂デ、一向議論ニナラスト云フ、議論ニナラヌモノヲ攻撃スル程骨ノ折レルモノハナイ、是ハ私ハ攻撃ハセヌコトニフル、モウ論外ニ措イテ置クガ、私ノ問ハント欲スル所ハ、此暗黒ナル所ノ疑フ受ケテ居リマス尼港問題、此尼港問題ヲ明カニスルト云フコトハ、天下萬民ノ爲メノミナラズ、政友會ノ御方ニ爲メニモナルコトアラウト思フ、何トナレバ政友會ノ前身星亨君ガ刺サレタ時ニ、後カラ板垣退助ノ行狀ヲ聞イテ、サウ云フ事デアツナラバト言ウテ後悔シタト云フコトヲ聞イタ、物ハ疑惑ノ在ル所ニ危険ガ伴フ、政友會自ラ安全ヲ保タント欲スルナラバ、先づ此疑惑ヲ去テハドウカ、是ガ政友會ノ爲メニ第一ノ事デアラウト思フ、吾ニハ天下萬民ニ光明ヲ與フルト同時ニ、政友會ニ一道ノ光明ヲ與ヘテヤリタイト云フ爲メニ此案ヲ出シタノテアル、今日ノ此問題ハ、要スルニ陸軍大臣ハ責フ負フト云フコトヲ言ハレル、外務大臣モ責任ヲ負フト云フコトヲ言ハレル、追及スルト云フト、陸軍大臣ハ陸軍ノ事ニハ責ガアル、外務大臣ハ外務ノ事ニ責ガアルト言ハレル、負フト云フコト

ト有ルト云フコトハ遅フ、負フト云フコトハ自分ガ引被ルコト、負フト有ルト云フ文字ノ解釋モ能ク判ラスト見エマシテ唯ダ責任ガアルト云フダケデ濟マシテ居ルト云フコトヘ怪シカラス、自ラ負フト云フコトハ負擔ノ意味デアル、自分ニ引受ケルト云フコトデアル、自分ニ引受ケル以上、自分が其責ニ任ズルコトデアル、然ルニモ拘ラズ、前ニハ之ヲ負フト云ヒ、後ニハ責ガアルト云フ、有ル責ヲ果サヌト云フナラバ、無責任ト云フコトニナル、斯様ナ前後撞著シタヤウナ事ヲ言ハレマスケレドモ、議會ノ中ハ政友會が多數アルカラ、ソレデ通リモシマセウガ、衆議院ノ門外一步ヲ出ヅル時ハ、天下萬衆ガ之ヲ許シマセヌ、拍手起ル元來敵ヲ知リ己ヲ知ル者ハ戦フ毎ニ必ズ勝ツトアル（孫子曰ク「ト呼フ者アリ」）今度ノ事ニ就テハ、當局大臣ハ孫子ノ一頁モ讀ンデ居ラヌノナハイカ、孫子ヲ知テ居ルナラバ、敵ハ何者デアルカト云フコトガ判ル筈デアル、敵ヲ餘リ御有知ナカラウト思フ、如何ナル者ガ本當ノ敵デアルヤト云フコトノ研究ガ付イテ居ルカドウカ、或時ハ敵ヲ味方ト思ヒ、或時ハ味方ヲ敵ト思フタヤウナ形ガアル、何トナレハ今度現ハレタル過激派思想、所謂「ボルシェヴィズム」ナルモノハ、是ハ單ニ露西亞ダケニ止マッタモノデナイ、其根柢タルヤ猶太人ガ何千年來國家ノ無イ爲メニ迫害ヲ受ケタ、迫害ヲ受ケタ其恨ヲ、此大戰爭ノ後ニ各國ノ國家ガ瓦解ニ乘ジテ之ヲ報イントスル所ノ、即チ非國家主義、無政府主義、是ガ大ナル根柢デアル、其焚付トシテ擇バレタルノガ露西亞デアル、焚付トシテ擇バレテ此火ヲ擴メヤウトシタ所ガ、西洋各國ノ知識ガ進ンデ居ルカラ、石造ノ倉ニハ火が著キニクイ、東洋ノ方ハ繕普請デアルカラ此方ハ持テ來タト云フノガ、是ガ西伯利ニ這入タ譯デアル、此過激思想ガ西伯利ニ這入テ來タ時ニ、恰モ是ト出食ハシタモノガ何モノカアル、戰後經營トシテ有餘物資ノ捌ケ場所何處ニカ向ケヤウト云フコトヲヤタノハ亞米利加デアル、此亞米利加ハ「ベーリング」海峡ヲ過ギ西伯利鐵道ニ依テ支那ノ利權ヲ壘断シヤウト云フコトヲ考ヘテ居ル所「チエック」が救援ヲ求メタ、此「チエック」ノ救援ヲ名トシテ亞米利加ガ日本ニ出兵ヲ誘導シテ來タ、日本ハ此時何故ニ自主的外交デ自分ノ利害ヲ保ツ爲メニ兵ヲ出スコトヲ計ラズシテ、亞米利加ノ相談ノ尻馬ニアラナイト考ヘテ居ル所「チエック」が救援ヲ求メタ、此「チエック」ノ救援ヲ名トシテ亞米利加ガ日本ニ出兵シタ曉ニ、亞米利加カラモ兵ヲ出名ガ、嚴冬霜雪ノ間にニ立テ寒ガ凍リ耳ガ落チルト云フ道敷設ノ名ニ於テハ工合ガ恐ルイカラ、何トカ致サナケレバナラナイト考ヘテ居ル所「チエック」が救援ヲ求メタ、此「チエック」ノ救援ヲ名トシテ亞米利加ガ日本ニ出兵シタ曉ニ、亞米利加カラモ兵ヲ出名ガ、嚴冬霜雪ノ間にニ立テ寒ガ凍リ耳ガ落チルト云フ道敷設ノ名ニ立テ、敢然トシテ磨懲ノ任ニ當テ居ルモノハ、忠勇士ル我が日本ノ同胞デアル（拍手起ル）山林ノ利權ヲ漁り、續

山ノ利權ヲ漁リ、漁業ノ利權ヲ漁ダ者ハ何所ノ國デアルカト云フコトニ感付カナイノハ、ドウ云フ譯デアルカ、即チ日本ガ或ル者ノ爲メニハ番兵ノ役ニ就テ居ルヤウナ形テナカッタ者、婦女マデモ連レテ行カウトシタ國ノ人間ガアルト云フコトヲ聞イテ居ル、而シテゾレハ誰ガ造ツテ居ルカ、其ノ罪ハ日本ガヤタト云フノデ、罪モ報イモナイ日本ニ汚名ヲ被セテ逃ダタ國ガアル、是ハ即チ味方ト思ツタ者ノ中ニ敵ガ居ル此敵ヲ敵ト知ラズニ居ヌ、恨ノ日本人ヶ被テ、彼ダノ様虐ナル事ガ行ハレタ、是ガ排日宣傳ノ效力ガ現ハレタ、而シテ助ケタ「チエック、スローヴァク」ハ果シテ日本ニ恩恵ヲ感ジテ居ルナラバ、特務曹長以下二十七名ノ日本ニ虐殺シタハドウデアルカ、其「チエック、スローヴァク」ハ始末ハドウシテ「ザルカ承リタイ、日本ノ殺シタ其者ヲ自分ノ味方ト思フヤウナ事デドウスル、而シテ今日「バルチアン」ナルモノハ如何ナル者デアルカ、「バルチアン」ハ特別任務ノ隊、或ハ支隊、或ハ別効除ナルモノカ有ル以上ハ、本隊ガ無レバナラス、又此別効除ナルモノカ有ル以上ハ、本隊ニ向テ協調ヲシヤウ、相談ヲシヤウト云ラ事ハドウ云フ間違タコトデアルカ、之が敵モ味方ル、故ニ責任ガナイト云フコトガ言ハレルケレドモ、所謂孫子ノ語ヲ藉リテ言ウテ見ルト「敵ノ來ラザルヲ恃マズ、我ノ敵ヲ知ルト云フコトモ知ラズ、已ヲ知ルト云フコトモ知ラズ、己モ知ラズ無算無識デ出シタ兵ト私ハ斷言スル、故ニ敵ガ來テモ之ニ對スル相當ナ準備ガ無ケレバナラヌト云フコトハ、用兵上誰デモ知ツテ居ル、千年前ニ孫子ノ言タコトガ、大正ノ今日判ラヌト云フコトハドウ云フカサントシテ、敵ノ來ラザルコトヲ恃ムト云フ不覺ナコトデ云云フコトハ、寒サカ何時頃ニ向ケバドウ云フコトヲセナラヌト云フコトガ判ラヌカラ、極寒デ寒クナツタカラ交通ガ出来ヌ何ゾ圖ラン、西伯利デモ蒙古デモ寒クナル時ガ交通時期デアル、ソレヲ逆三言ウテ寒クナツタカラ交通ガ出来ヌ云云フコトハ、天ノ時ノ如何ナル敵ガ來テモ之ニ對スル相當ナ準備ガ無ケレバナラヌト云フコトハ、用兵上誰デモ知ツテ居ル、千年前ニ孫子ノ言タコトガ、大正ノ今日判ラヌト云フコトハドウ云フ譯ダ、況ヤ天ノ時モ判ラヌ、天ノ時ガ判ラヌト云フコトハドウ云云フコトカ、寒サカ何時頃ニ向ケバドウ云フコトヲセナラヌト云フコトガ判ラヌカラ、極寒デ寒クナツタカラ交通ガ出来ヌ何ゾ圖ラン、西伯利デモ蒙古デモ寒クナル時ガ交通要ヲ危シテ置ケバ、一大企ニ當レバ、千夫モ波リ誰ノシカ

數ノ兵ヲ以テ守レルト云フ大寺ナ所ヲ忘レテ、唯ミニコラエ  
ウスク「ト云フ平野ノ據所ノ無イ所ニ據タコトハ地ノ理ヲ  
知ラヌ、又若シ是等ノ地理ヲ知ルナラバ、之ヲ浦潮斯徳ニ  
引揚ゲテモ尙ホ可ナリ」ソレサヘモ出來ナイ、第三番目ノ人  
ノ和ヲ得タカ、人ノ和ヲ得ヤウトスレバ彼等ニシテ曰本人ヲ  
助ケヤウトスル「ギリヤーク」人種モアリ「セミヨノフ」ト云フ  
人間ガ居ル、其他ノ土人モ現ニ日本人ヲ助ケタモノガアル、  
人ノ和ヲ得ヤウト思フナラバ得ラレヌコトハナカタカ、之ニ  
手ヲ若ケルコトヲ知ラザルノミナラズ、日本人ノ間ニ軍人同  
士ノ軋轢ガアリ、軍人ト外交官ノ軋轢ガアリ、出先ト本隊  
トノ軋轢ガアル、人ノ和ヲ得テ居ラヌ、其人ノ和ヲ得テ居ラ  
ヌ一端ノ現レタコトハ何デアルカ、現ニ外交調査會ノ席ニ  
加ハル犬養君ノ國民黨ガ、吾ミノ提案シタ所ノ調査會ニ  
賛成ヲスルト云フコトハ、外交ノ根本ノ一番ノ大本ニ於テ、  
既二人ノ和ヲ得テ居ナイト云フコトデアル（拍手起ル）當ニ  
此一時ダケデモ——外交調査會ガ一ツニ割レテ居ルト云フ  
一事ダケデモ、吾ミハ調査スル必要ガアル、況ヤ山程ノ理由  
ガ有ルニ於テオヤ、ソレ故ニ吾ミハ調査機關ナルモノヲ設ケ  
テ、諸君ト共ニ政黨派ノ喧嘩ハ止メニシテ、眞面目ニ一  
ツヤシテ見ヤウト思フノアリマス、ドウデモ反対スルコトデア  
レバ、止ムヲ得ズ我ニ三寸不爛ノ舌頭アリ、而シテ中野正  
剛君ノ出シタ材料ガ有ルカラ、更ニ機會ヲ見、時ヲ窺ヒ、幾  
度モ此議會ヲ懼スコトヲ諸君ハ御承知アランコトヲ希望ス  
ル、左様ナ事ヲ公ニセラル、ヨリハ、調査會デヤルノガ諸君  
ノ御爲メデアル、之ヲヤルノガ政友會ノ御爲メデアル、之ヲ  
ヤラナケレバ益、政友會ノ民心ヲ失フト云フコトノ忠告マテ  
添ヘテ、本案ニ賛成致シマス  
○國務大臣（原敬君） 議長  
○議長（奥繁三郎君） 原總理大臣  
〔國務大臣原敬君登壇、握手起ル〕

少々外交調査會ノ噂ノ聞カレテ、之ニ想像ヲ加ヘ、之ヲ敷断定シテ居ラレル（拍手）免ニ角其處ニ聞カレタ事ニ就テ色ニナル想像モ起ダコトデアリマセウ、其想像ヲ加ヘ、聞カレタ僅カバカリノ材料ヲ、大層ニ敷衍セラレ、結局中野君ノ御考ニ依テ断定セラレテ、怪シカラヌ斯ウ云フ風ナコトニナツテ居ルノデアル、ソコデ其言ハル、所ハ無論攻撃彈劾ニ充サレテ居ルトハ云フモノ、實際ノ事實ニ於テハ更ニ彈劾攻撃ニモナリハシナイデアリマス、茲ニ御演説中ノ一例ヲ一寸申シテ置キマス、是ハ洵ニ小サナ事デアリマスケレドモ、例證スルニハ足ルノデアリマス、唐紹儀ガ參ツタニ就テ云云ト云フコト、私ハ唐紹儀トハ屢々面會致シ、拙宅ニモ參ツテ色と長時間意見ノ交換ヲシタコトケアル、併シ是ハ御聞キニナラナカタト見エル、政尾藤吉君ノ所ニ招カレテ同席致シタコトが一回アル、之ヲ少々聞カレタト見エテ、政尾藤吉君ノ宅ニ於テ、屢々密會シタト言ハレル、是ガ即ち想像ガ加ハリ敷衍セラレ、遂ニ断定セラレタト云フ洵ニ見易イ證據デアル（拍手）多ク皆此類デアル（其位ノ事ガ何ダ）「ソレダカラ調査ヲ要スル」ト呼フ者アリ（要スルニ中野君ハ先刻言ハレタダケノ演説ヲ爲サレバ、中野君ノ目的ハ達セラレテ居ルノデハアルマイカト思フ（拍手笑聲起ル）又佐々木君ハスウ云フ場合ニ總て真相ヲ明カニシ、兎ヲ雪イグラ宣カラウトナケレバナリマスマイ（コンナ事ハ度々アリマセヨ）ト呼フ者アリ）是ハ中々容易ナラヌ事ニ立至リマスカラ、ソレハ出来ナイコトデアル、又尼港事件ノ真相ト云フコトハ、屢々發表シタル書類ニ依り、質問ニ答へタル所ニ依テ、明瞭ニナツテ云フコトハ、政府ノ因ル困ラヌデハナイ、憲法政治ノ爲ニ私ハ採ラザル所デアリマス（ヒヤー）ト呼フ者アリ、拍手起ル（ノウー）ト呼フ者アリ）國民ノ多數ハ何等爰ニ疑義ハナリ故ニ斯様ナ事ハ無論多數ノ同意ハアリマスマイガ、速ニ否決セラレコトガ適當ト考ヘマス（拍手起ル）——採決ヲ致

○議長（奥繁三郎君） 少數ト認メマス（「多數々々」「異議アリ異議アリ」ト呼フ者アリ）

○議長（奥繁三郎君） 試ニ決議案ニ反対ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔反対者起立〕

○議長（奥繁三郎君） 多數ト認メマス

〔「少數々々」「異議アリ異議アリ」ト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君） 宣告ニ異議アル諸君ノ起立ヲ求メマス……（横暴々々「異議アリ」其他發言スル者多シ）……

起立スル人々アリマセヌカラ、議長ノ宣言通リニ決シマシタ（拍手起立）

○佐々木安五郎君 議長

○議長（奥繁三郎君） 佐々木君何デスカ

○佐々木安五郎君 此場合祕密會ヲ要求致シマス

○議長（奥繁三郎君） 何ノ問題ニ就テ……

○佐々木安五郎君 唯今ニ尼港問題ニ就テ……

○議長（奥繁三郎君） 尼港問題ハ採決ガ濟ミマシタ

○佐々木安五郎君 採決ハ調査委員會ニ就テノ採決デアッテ、尼港問題デハナイ議員法第三十八條ニ依テ議員十名以上ノ賛成アルトキハ、祕密會ヲ要求スル権利ガアリマス（「然リ」）無用々々（ト呼フ者アリ）権利ガアリマス

○議長（奥繁三郎君） 祕密會ヲ要求ナサル権利ハアリマスグ、問題ナクシテ祕密會ヲ開クコトハ出來マセヌ

○佐々木安五郎君 問題ハ尼港問題ニ關シテ——（「無用無用」ヤレ——）登壇々々（ト呼フ者アリ）登壇シテ趣意ヲ述ベル……

○議長（奥繁三郎君） 許シマセヌ

○佐々木安五郎君 ソレナラ此處デヤル——唯タ一回密會シタノヲ數回密會シタト言フトニ云フコトヲ言ハレルガ、是スラモ間違テ居ル、ソレ等ヲ明ニスル爲ニ、調査會ヲ開クベキデアル、併シは人中デハ言ヒ惡イト見エルカラ、ソレデハ祕密會ニ於テ承ハラウト云フノデアル、祕密會ハ議員ノ権利デアル（「無用々々」ヤルベシ——）（ト呼フ者アリ）議長ガ葬ムルコトハ出來マス……（「安五郎」ト呼フ者アリ）何ダ……（笑聲起）

○議長（奥繁三郎君） 静カニ——諸君、是デ本日ノ日程ハ終リマシタ、次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會